

モニタレコーダー

VR700

取扱説明書

東芝テリー株式会社

目次

はじめに	i
安全上のご注意	ii
使用上のお願い	vi
リチウムイオンバッテリーについて	ix
リチウムイオンバッテリーについて	x
本製品を輸送する場合	x
免責事項	xi
用途制限	xi
Ⅰ. 添付品の確認	1
Ⅱ. 特 徴	2
Ⅲ. 各部の名称	3
Ⅳ. 機器の設置と接続	4
1. 機器の準備	4
2. 本製品の設置・固定	5
3. 接 続	6
Ⅴ. 操作手順	7
1. バッテリーの充電	7
2. 起 動	7
3. 使 用	8
4. 移動・運搬	9
Ⅵ. モニタレコーダーの操作	10
1. 表示画面内の名称	10
2. OSD MENU 画面	10
3. 画面表示項目の設定	11
4. 静止画・動画の記録	12
5. 静止画・動画の再生	13
6. 文字入力	17
7. WLAN(無線接続)	18
8. ZOOM	28
9. バッテリー情報	29
10. 電源ランプ	29
11. SD カード	30
12. 各種設定	32
13. スリープ設定	34
14. 強制電源 OFF	34
Ⅶ. 故障と思う前に	35
Ⅷ. 製品仕様	37
1. 基本仕様	37
2. 電源部	39
3. 周囲環境	40
4. 機械仕様	40
5. 寿命部品	40
6. 外形図	41
Ⅸ. 日常の点検とお手入れについて	42
1. 日常の点検	42
2. 清 掃	42
3. 保 管	42
X. 保証について	43

はじめに

この度は、モニタレコーダー VR700 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、本製品をご使用頂くための注意事項など、大切な事柄が記載されておりますので、ご使用前に必ず本書をよくお読み頂き、正しくご使用下さい。

なお、本書を制作するにあたっては十分にチェックをしておりますが、万が一誤字脱字あるいは不明な点がございましたら弊社までご連絡頂けますようお願いいたします。

また、お読みになった後は、大切に保管して下さいますようお願いいたします。

操作・取り扱いについて

- ◎ 本装置は産業用装置となります。操作、取扱については専門の知識を持った方が行って下さい。

輸送について

- ◎ 本製品には リチウムイオンバッテリー(リチウムイオン二次電池)が内蔵されています。
本製品を複数台まとめ、同一梱包で輸送する場合は UN3841 PI967 Section II に従い梱包表示を必ず行って下さい。

輸出規制について

- ◎ 本製品は 日本国内専用 製品です。海外での使用に関して、弊社は一切の責任を負いません。

廃棄について

- ◎ 本製品は一般家庭廃棄物として廃棄できない場合があります。各地方自治体の条例または規制に従って廃棄して下さい。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ下さい。
また、搭載しているバッテリーは、端子をテープで絶縁するなどの絶縁処置をしたうえで、小型二次電池として最資源化処理を行って下さい。

寿命について

- ◎ 本製品の仕様を超える周囲温度・湿度の場所での使用は、製品寿命が加速され著しく短くなりますのでご注意下さい。

画質について

- ◎ 画面表示にムラが生じる場合がありますが、液晶の特性によるもので故障ではありません。
- ◎ 画面に薄い縦縞が見えることがあります。液晶の特性によるもので故障ではありません。
- ◎ 1ドットおきの市松模様などを中間色・中間輝度表示するとチラツキが起こることがありますが、故障ではありません。
- ◎ 画面に赤緑青のドットが残ったり、点灯しないドットが残ることがありますが、故障ではありません。
- ◎ 入力される映像信号にノイズや乱れが生じた場合、画面に表示される場合がありますが故障ではありません。

焼き付きについて

- ◎ 長時間同じ画像を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像が残る場合があります。表示画面を変えることにより徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示し続けると、焼き付き(残像)が解消されなくなることがありますのでご注意下さい。

ご注意

- ★ 本書の内容の一部または全部を無断転写することは禁止されております。
- ★ 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

安全上のご注意

本取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使い頂くための重要な内容が記載されております。

次の内容(表示・図記号)を良くご理解のうえ全てをお読み頂き、記載事項をお守り下さい。

[表示の説明]



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容であることを示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される」内容であることを示します。

※重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などを指します。

※物的損害とは、財産・資材の破損に関わる拡大損害を指します。

[図記号の説明]



禁止（行ってはいけないこと）を告げるものです。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



強制（必ず行うこと）を告げるものです。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意 しなければならないことを告げるものです。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告



指示

- AC アダプタは推奨のオプション品をご使用下さい。
- AC アダプタをご使用にならない場合は、入力電源電圧は 12V±5% の範囲内でご使用下さい。
また、2.5A 以上の十分な給電能力がある電源をご準備下さい。
仕様範囲外の電源電圧で使用すると、火災、故障などの原因となり人体に影響を及ぼす可能性があります。
- 推奨の AC アダプタをご使用にならない場合は、動作・性能および安全性はお客様自身でご確認の上
ご使用下さい。
- 電源プラグの金属部分に付着したほこりは、良くふき取って下さい。
ほこりが付着すると、火災の原因となります。



電源コード抜く

火災や感電、故障の原因となりますので、以下内容が生じた場合すぐに電源コンセントから電源プラグを抜き、直ちにご使用を中止して下さい。
お客様による修理は危険ですので絶対に行わず、必ず販売元に修理をご依頼下さい。

- ・異物が本製品の内部に入った場合
- ・異常な臭いや異音が生じたり、過熱・発煙した場合
- ・本製品を落とすなどして筐体を破損した場合

放熱や絶縁が悪くなり、焼損・発火・感電などの原因となりますので、以下の環境では使用しないで下さい。



禁止

- ・暑い場所(40℃以上)や直射日光が当たる場所
- ・湿度の高い場所、結露しやすい場所
- ・高温多湿及び寒所から暖所への急激な移動等により結露する可能性がある場合
- ・ほこりの多い場所
- ・引火性のある環境(雰囲気)
※電気接点のスパーク等により、爆発・引火の原因となります。



禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため早めに電源コンセントから電源プラグを抜き、ご使用を中止して下さい。
感電・焼損・発火の原因となります。



分解禁止

お客様ご自身で本製品を分解・修理・改造しないで下さい。
安全を保証できなくなり、故障・誤動作・事故の原因になります。



水濡れ禁止

本製品は防水構造ではありません。火災や感電の原因となりますので、以下内容に注意して下さい。
また、万が一製品を水没させたり、本体内部に液体や異物が侵入してしまった場合は、
本体及び電源コンセントから電源プラグを抜き、直ちにご使用を中止して下さい。
お客様による修理は危険ですので絶対に行わず、必ず販売元に修理をご依頼下さい。

- ・水が掛ったり濡れた手で作業を行った場合、水を完全に拭き取ってからご使用下さい。
- ・ご使用中は安全靴、ゴム手袋等の保護具をご着用下さい。
- ・雨風にさらされる場所や、水・液体が掛かる場所では使用しないで下さい。
- ・機器の上に花びん、コップなど薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないで下さい。



禁止

指定された装置機器以外とは接続しないで下さい。
火災・感電の原因となります。

警告



禁止

火災や感電の原因になりますので、次のことに注意して下さい。

- ・内蔵電池を交換しないで下さい。
- ・電源コードを無理に曲げたりねじったりしないで下さい。
- ・電源コードは熱器具などの発熱体に近づけないよう、十分に距離を取って下さい。
- ・電源コードの上には物を載せないで下さい。
- ・差し込みプラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。
- ・濡れた手で差し込みプラグを触らないで下さい。
- ・差し込みプラグや電源コードが傷ついたり、内部が露出したまま使用しないで下さい。
- ・コンセントへの差し込みプラグの接続がゆるくぐらついたり、プラグやコードが熱くなっている場合直ちに使用を中止して下さい。
- ・コンセントのたこ足配線は行わないで下さい。



禁止

ケガや事故など人体に影響を及ぼしたり、破損・故障の原因となりますので、以下内容に注意して下さい。また、本製品に変形や亀裂等の破損が見られる場合、そのエッジ部分で切り傷を負うことがありますので、そのままご使用せずに販売元へご連絡下さい。

- ・本製品を持ち運ぶときは、落としたり衝撃を与えないで下さい。
- ・本製品を持ち上げて移動する場合は、無理な姿勢で行わないようにして下さい。
- ・本製品を移動又は積載する場合は、重量物のため落下させないようにご注意ください。
- ・本製品の転倒・落下により人体や周囲に影響を及ぼす可能性が有る場合は、本製品へ転倒・落下防止措置を施して下さい。
- ・本製品をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないで下さい。



禁止

SD カードを、乳幼児の手の届く場所に置かないで下さい。誤って飲み込んだ場合、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談下さい。



メンテナンス

本製品をより良い状態で使用していただくために、年に一度のメンテナンスをお勧めします。メンテナンスを受けないと、異常・故障を発見できず、火災・事故・ケガの原因となります。また使用前には必ず点検頂く様お願いいたします。尚、使用後は本製品の点検及び清掃をして頂くようお願いいたします。



電源コード抜く

点検・清掃(お手入れ)は、必ず本体及び電源コンセントから電源コードを抜いた後に行ってください。感電やケガの原因になります。

注意



禁止

- 冷気が直接吹き付けるような場所には設置しないで下さい。
そのままご使用になりますと、露が付き、漏電・焼損の原因になります。

- 油煙や湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しないで下さい。
内部の温度が上がり、焼損・火災の原因となることがあります。



指示

- 本製品をノイズを発生する機器の周辺で使用したり、本製品の電源コードをそれらの機器の電源コンセントと併用すると、本製品の画像にノイズ・乱れ等が発生する場合があります。
その場合は、ノイズを発生する機器から離して設置して下さい。

- 他の電子機器の近くでご使用になると、本製品の動作不良や電子機器に影響を与える可能性があります。
このときは、できるだけ離して下さい。
また、本製品に強い磁力や静電気を加えないで下さい。誤動作、故障の原因となります。

- ラジオ・テレビ・FMチューナ、BS チューナなどの電波受信機の近くでご使用になると、受信障害の原因となることがあります。
このときはできるだけ離して下さい。
また、電波受信機とは別の電源コンセントに接続して下さい。



禁止

- 本製品のコネクタ部分などに異物(燃えやすい物・水・金属など)や指を差し込んだり、中に入れたりしないで下さい。火災・感電・ケガの原因となります。

- SD カードスロットに SD カード以外のものを挿入しないで下さい。火災・感電、故障の原因になります。

- 本製品の画面(タッチパネル)を鋭利なもので押さないで下さい。
画面表面をキズつけ、故障の原因となります。



指示

- 機器間を接続する場合、必ず本製品の電源が OFF になっていることを確認してから行って下さい。
感電の原因となります。

- 作業中は本製品に接続されるコード、ケーブルにご注意下さい。
足元のつまづきや引っ掛けによりケガや事故の原因となります。



禁止

- 機器の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないで下さい。
動く、倒れる、壊れるなどケガや故障の原因となります。



禁止

- お手入れの際は、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないで下さい。
塗装や表示部がはげたり、変質する原因となります。

- 本製品の画面は、乾いた柔らかい布で軽く拭き取って下さい。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を加えた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから拭き取って下さい。



禁止

お手入れの際や長時間本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず本体及び電源コンセントから電源プラグを抜いて下さい。



分別廃棄

本製品はリチウム電池、リチウムイオン二次電池や液晶パネルを使用しています。
廃棄される場合は、地方自治体などの条例に従って行って下さい。
環境汚染を防止・リサイクルのため、適切な廃棄をお願いいたします。

使用上のお願い

●本製品は日本国内専用です。

本製品は日本国内での使用にのみ適合する製品です。海外への持ち出しでの使用はしないで下さい。

●取り扱いには丁寧に

- ・落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないで下さい。故障の原因となります。
- また、接続ケーブルは、乱暴に取り扱わないで下さい。ケーブルが断線する恐れがあります。

●機器の接続

- ・機器を接続するときは、必ず電源を切った状態で行って下さい。
- ・プラグが接続していない状態で電源を入れないで下さい。機器の故障の原因となりますので、プラグは確実に取り付けて下さい。

●使用周囲温度・湿度

- ・仕様を超える周囲温度・湿度の場所では使用しないで下さい。画質低下のほか、内部の部品に悪影響を与えます。
- また、直射日光の当たる所でのご使用には特にご注意下さい。
- ・本製品の内蔵のリチウムイオンバッテリー保護のため、高温時及び低温時に以下のような動作をします。
周囲温度 目安 35℃以上、0℃以下 の場合 画面上に注意メッセージ表示 及び バッテリー充電を停止
周囲温度 目安 45℃以上、-10℃以下 の場合 画面上にシャットダウンメッセージ表示後、シャットダウン実施

注意メッセージが表示された場合

- 高温時 本製品に直射日光が当たらないようにしたり、涼しい場所に移動してご使用下さい。
- 低温時 本製品に直接冷気が当たらないようにしたり、温かい場所に移動してご使用下さい。

シャットダウンメッセージが表示された場合

録画等作業を停止し、シャットダウンに備えて下さい。

●電源について

- ・入力電源電圧は、本製品仕様範囲内でご使用下さい。

●モニターレコーダーについて

- ・モニターレコーダーの液晶モニタは、低温で使用すると画像が暗くなりますが異常ではありません。
- ・強い磁気を発生するものの近くや強力な電波を発生するものの近くでは、画面にノイズが表示することがありますが故障ではありません。
- ・時計用のボタン電池を搭載しており、約5年を目安に交換になります(25℃でご使用の場合)。
- 時間がズレる等、劣化を感じた場合には、弊社営業窓口または販売元までご連絡下さい。

●録画データのバックアップ

- ・録画中に電源OFFや他の操作を行ったり、外部からの強い衝撃・静電気などにより、データを破壊する可能性があります。SDカードに録画したデータは、万が一に備えパソコンなどにバックアップを行って下さい。
- 録画したデータの消滅(または破壊)については、当社は一切責任を負いません。
- ・SDカードの空き容量が少ない状態で記録をすると、最後に記録したデータは保存できない場合があります。空き容量が少ない場合は、予備のSDカードを準備頂るかパソコンなどにデータを移動して下さい。

●タッチパネルについて

- ・モニターレコーダー表示画面部にタッチパネルが設置されております。尖ったペンや爪先などで操作すると表面を傷つけ画面が見づらくなったり故障の原因となりますので、ご注意下さい。
- ・静電容量方式のタッチパネルを使用しております。タッチパネルに水などが付着すると、誤動作の原因となりますので水が付着した場合はすぐに拭き取って下さい。
- また、タッチパネル方式の性質上 ペン や 手袋 では反応しませんので、指 またはタッチペンをご使用下さい。(感度はタッチペンにより異なります。タッチ面積が広いタイプで反応しやすくなります)

使用上のお願い

●液晶モニタの表示について

液晶モニタに表示ムラが生じたり薄い縦筋が見える場合があります。これは液晶の特性によるもので故障ではありません。1ドットおきの市松模様などを中間色・中間輝度表示するとチラツキが起こる場合がありますが、故障ではありません。また画面上に赤緑青のドットが残ったり、赤緑青で点灯しないドットが残ることがありますが故障ではありません。

●液晶画面の焼き付きについて

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。表示画面を変えることで徐々に解消されます。ただし、長時間同じ画面を表示していると焼き付きが解消されなくなる場合がありますのでご注意ください。

●無線 LAN(WLAN)について

- ・無線LANによる通信接続は、使用される環境によって状態が異なります。接続が不安定な場合は、本製品及び携帯端末周辺の構造物や壁、周辺に存在する無線LAN機器の影響が考えられます。本製品と近距離で接続すると安定する場合があります。
- ・携帯端末との無線LANによる通信接続は、専用のアプリ(Teli Pipeview/Android版,iOS版)を使用します。ご使用になる携帯端末にてGoogle PlayまたはApp Storeより「Teli Pipeview」を検索し、アプリをダウンロード、インストールして下さい。
(弊社HP 製品ページをご参照下さい)
- ・本製品を複数お持ちになる場合は、SSIDを工場出荷状態から任意の名称へ変更し、個体を識別できる様設定するようにして下さい。
- ・Android版の場合、Android OSのバージョン、機種によって設定箇所や表示が異なる場合があります。
- ・本製品のWLAN機能は、接続される携帯端末との1対1のペアリング接続です。ペアリング動作中は、本製品に対し他携帯端末からの通信はできません。
- ・無線LAN通信によるストリーム伝送画像は本製品のモニターレコーダーに表示されている画像に対し、一定の遅延を生じますが故障ではありません。
- ・無線LANによる通信、操作中、ストリーム画像の遅延が大きくなる場合があります(通常1秒～2秒程度の遅延)。画像の遅延が大きいと感じた場合は、一度ログアウトし、再度接続しなおすと通常の画像遅延に戻ります。

●SDカードについて

- ・SDカードの挿入・取り出しは機器の電源を切ってから挿入して下さい。SDカード挿入時に静電気の影響で機器が誤動作する場合があります。万一機器の起動時に挿入し、誤動作した場合は再度電源を入れ直して下さい。
- ・推奨品以外の動作保証をしておりません。推奨品以外の物をご使用になられる場合は、お客様の自己責任でご使用下さい。また、メディアに記録したデータの消滅(破壊)については、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

推奨 SD カード 東芝製：SDBR48N シリーズ KIOXIA 製：KSDB-A シリーズ
※ SDHC カード 4GB ～ 32GB
SDXC カード 64GB ～ 256GB

- ・SD カードが入っている状態で衝撃が加わると、SD カードを認識しなくなる場合があります。特に録画中に衝撃が加わった場合、データが保存されない場合がありますのでご注意ください。万一、SD カードを認識しなくなった場合は、再度 SD カードを入れ直し電源を再投入して下さい。
- ・録画中及び再生中に SD カードを取り出すとファイルを破損する恐れがあります。
- ・SD カードをパソコンなどで使用する場合は、容量に対応したカードリーダーをご使用下さい。未対応のカードリーダーでは、正常に動作しない場合があります。
- ・取り扱いデータによっては、著作権またはその他の権利を有するものがあります。データの複製・配布などには十分ご注意ください。不正なデータの取り扱いや印刷物のトラブルについては、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品(モニターレコーダー)でSDカードに保存したデータを編集(ファイル名の変更や加工)する場合は、かならず保存したデータをパソコンにコピー(複製)してからパソコン上で行って下さい。SDカード内の保存データを直接編集すると、モニターレコーダーが正しく動作しなくなる可能性があります。また、パソコンで編集したデータは、モニターレコーダーで正しく再生させることはできませんので、パソコンで編集したデータをモニターレコーダーで使用するSDカードに保存しないで下さい。
- ・SDカードは内部データが破損するリスクがあります。定期的に保存データをパソコンに保存(バックアップ)し、SDカードの初期化をモニターレコーダーで実施して下さい。

使用上のお願い

●SDカードリーダーについて

- ・本装置で記録したカードをパソコンで使用する場合、カードリーダーはカードの容量、スピードに対応したものをご使用下さい(USB2以上)。未対応のカードリーダーでは正常に動作しない場合があります。
- ・推奨品以外の動作保証をしておりません。
推奨品以外の物をご使用になる場合は、お客様の自己責任でご使用下さい。またメディアに記録したデータの消滅(破壊)については、弊社は一切その責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承下さい。

●録画データの著作権について

- ・取り扱うデータによっては著作権またはその他権利を有するものがあります。
データ複製・配布などには十分ご注意下さい。不正なデータの取扱い、印刷物のトラブルについて、弊社は一切責任を負いません。

●直射日光は避けて下さい

- ・本製品を直射日光の当たるところや車内等に放置しないで下さい。変形、故障の原因となります。
車内等に放置する場合には、シートや布等を掛けて直射日光から保護することをお勧めします。

●本製品に搭載の内部リチウムイオンバッテリーについて

- ・本製品はリチウムイオンバッテリーを搭載しています。
使用・保管中の温度は、「常温」を標準とし、特に夏季の高温になる室内や直射日光が当たる場所、冬季の0℃以下になる環境での保管は避けて下さい。

●低温下での使用

- ・低温下では、バッテリーの能力が低下し、機器の使用時間が短くなる場合があります。
低温における使用の場合には、ACアダプタでの使用をお勧めします。

●寒い所から暖かい所へ持ち込んだ時

- ・機体の表面が結露したり、モニタ画面が曇る場合があります。
そのような場合は、使用せずに1時間以上放置して乾燥するのを待ってからご使用下さい。

●防水性について

- ・モニタレコーダー本体は防水構造ではありませんので、水が掛からないように十分気を付けて下さい。水が付着した場合は、速やかに乾いた布などで拭きとって下さい。
急な天候の変化により機器が雨等に当たる場合は、速やかにシート等を機器に掛けて下さい。

●ご使用にならないとき

- ・本体及び電源コンセントから電源コードを抜き、本製品と共に室内に保管して下さい。
保管中、本体に直射日光を避け、水や汚れなどが付着しないようご注意下さい。
・保管時は、定期的にモニタレコーダーの充電を実施して下さい(目安:3ヶ月ごと)

●故障が発生した場合

- ・故障が発生した場合は、本体及び電源コンセントから電源コードを抜き、販売元までご連絡下さい。

●製品の廃棄について

- ・廃棄される場合は、各地方自治体の条例に従って下さい。
また、搭載しているバッテリーは、端子をテープで絶縁するなどの絶縁処置をしたうえで、小型二次電池として再資源化処理を行って下さい。

下記の他社登録商標・商標、会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

- ※ iOSは、Apple Inc.のOS名称です。IOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています
- ※ App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- ※ Google Play, Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。

リチウムイオンバッテリーについて

本製品のモニターレコーダー内部には、リチウムイオンバッテリー(リチウムイオン二次電池)が内蔵されています。



注意

内蔵のバッテリーは、電気用品安全法(PS)E 認証品ですが、本製品専用のものですので、他機器にはご使用になれません。

組み合わせ可能な機器：VR700 および 弊社が指定する機器

また、同様に本製品への使用には、内蔵バッテリー以外のものはご使用になれません。



警告

リチウムイオンバッテリーは有機溶媒等の可燃物を使用しております。

取り扱いを誤りますと、破裂、発火、発煙の恐れや性能低下、故障の原因となります。



禁止

内蔵バッテリーの交換について

モニターレコーダーを分解しないで下さい。故障の原因となります。
内蔵バッテリーの交換は、販売元までお問合せ下さい。



禁止

モニターレコーダーに強い衝撃を与えない

強い衝撃を与えると内蔵バッテリーを損傷させ、液漏れ、発熱、発煙、破裂などの原因となります。



禁止

モニターレコーダーを濡らさない

水、海水、雨、飲料や調味料などの液体をモニターレコーダーにかけたり、長時間付着させたりしないで下さい。内蔵バッテリーが発熱し、発煙・発火や破裂などの原因となります。
モニターレコーダーに液体が付着した場合は、すぐに拭き取って下さい。



禁止

モニターレコーダーを火やストーブの傍など高温(50℃以上)の場所で使用したり、放置しない

内蔵バッテリーが熱により変形・破損し、液漏れ、発熱、発煙、破裂などの原因となります。



禁止

火の傍や炎天下の駐車場などで充電はしない

高温になると危険を防止するための保護機構が働き充電できなかつたり、保護機構が壊れることによって異常な電圧で充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、発火や破裂などが起こる可能性があります。



禁止

バッテリーの交換は販売店へ/VR700 以外の機器に組み込まない

ご自身でのバッテリーの交換は絶対に行わないで下さい。バッテリーに異常を感じる場合には、必ず販売元にご依頼下さい。

異なる充電器の使用や指定の条件以外の充電により、異常な電流・電圧で充電されると、バッテリー内部で異常な化学反応が生じ、発熱、発煙破裂、発火する原因になります。
また、バッテリーをVR700 以外に使用しますと、バッテリーの性能や寿命が低下したり、機器によっては異常な電流が流れバッテリーが破損する場合があります、発熱、発煙破裂、発火する原因になります。

リチウムイオンバッテリーについて



禁止



禁止

内蔵バッテリーの交換について

モニタレコーダーを分解しないで下さい。故障の原因となります。
内蔵バッテリーの交換は、販売元までお問合せ下さい。

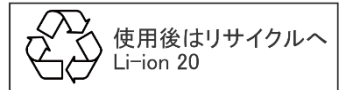
廃棄時

本製品を廃棄する際、内蔵バッテリーを取り外した場合は以下内容について十分注意下さい。

- ・水、海水、飲料や調味料などの液体につけたり、濡らさないこと。
- ・火の傍やストーブなどの高温(50℃以上)の傍に放置しないこと。
- ・バッテリーを火の中に投入したり、加熱しないこと。
- ・バッテリーのプラス端子とマイナス端子を針金などでショートしないこと。
- ・バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと。
- ・釘で刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないこと。
- ・バッテリーの分解、改造等は絶対にしないこと。

バッテリーは普通ゴミ／不燃ゴミとして捨てない

製品を廃棄する場合は内蔵のバッテリーを取り外し、
各自治体の指導に従って処分して下さい。



本製品を輸送する場合



指示

・輸送規制を遵守して下さい。

●空輸の場合

本製品を空輸する場合は、バッテリーを内蔵する機器に適用される[PI967:UN3481]を遵守する必要があります。

本製品は 45.36Wh のリチウムイオンバッテリーを搭載する UN3481 PI967 Section II に該当する機器です。

・本製品を集合梱包などに収めて輸送する場合

- ①本製品 2 台までの輸送では法令の制限を受けません。
- ②本製品を 3 台以上輸送する場合には、法令により適切な表示を梱包箱外装に行う必要があります。

輸送に際しては、各航空会社、輸送会社の指示に従って適切に表示をお願いします。

海上輸送の場合にも同等の規制がありますので、輸送会社の指示に従って適切に表示をお願いします。

●陸送する場合

本製品にリチウムイオンバッテリーが内蔵されていることをお伝えの上、輸送をご依頼する輸送会社の指示に従い、適切に機器表示して下さい。

免責事項

- ・火災、地震、第三者による行為、その他事故、使用者の故意または過失、誤使用その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失など)、事故(人命に関わる事故、火災、環境汚染等)に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・本製品を使用したことにより、第三者の工業所有権等に関わる問題が発生した場合、弊社製品の構造製法に直接関わるもの以外につきましては、弊社は一切責任を負いません。
- ・機器仕様書、取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・機器仕様書、取扱説明書に記載されている以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・接続機器 及び WLAN アプリ Teli Pipeview との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・弊社が関与しない接続機器、ソフトウェア等との組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。
- ・製品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本製品の個品価格以内とします。
- ・本製品の機器仕様書、取扱説明書に記載のない項目につきましては、保証対象外とします。

用途制限

- ・次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮を頂くとともに、弊社へご連絡くださるようお願いいたします。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境での使用。
 2. 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用
- ・本製品は産業用映像機器との組み合わせを主な使用目的としておりますが、異なる目的への使用や、接続される装置、機器との適合性の決定はお客様ご自身が必要に応じて分析やテストを行ってから決定して下さい。また、その性能、安全性についても、お客様において保証して下さい。
- ・本製品は、人の生命に直接関わる装置^(*1)や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置^(*2)などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途に使用しないで下さい。
 - (*1)人の生命に直接関わる装置とは、次のものを指します。
 - ・有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
 - ・消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務付けられている装置
 - ・上記に準ずる装置
 - (*2)人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものを指します。
 - ・航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
 - ・原子力発電所などの装置
 - ・上記に準ずる装置
- ・本製品に強い衝撃や強い振動を与える環境・用途で使用すると故障や製品寿命低下の原因となりますので、予防処置を施したうえでご使用になる事をお勧めします。

I. 添付品の確認

本製品の梱包箱を開梱しましたら、以下の物の確認を行って下さい。
万が一、不足の物がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡下さい。

【 機器本体 】

モニタレコーダー VR700 1式

【 付属品 】

1. クイックマニュアル (VR700 用) 1枚

2. SDカード 1枚

※モニタレコーダー (VR700)に挿入済み

【 ダウンロードしてお使いいただくもの 】

1. 取扱説明書
2. 携帯端末用アプリ <TELI Pipeview>
iOS 用 および Android 用 をご用意しております。
弊社ホームページの製品ページよりダウンロードいただけます。

【 オプション 】

1. AC アダプタ 12V/2.5A 品 (推奨オプション品 ATS036T-A121-L)
2. 映像コード 黄色 RCA ピンプラグ品)
3. 交換用バッテリー VR700 専用 (サービスマン対応)

II. 特徴

本製品の主な特長は以下のとおりです。



タッチパネルによる簡単操作

モニタレコーダー画面上タッチパネルにより感覚的操作が可能です。



静止画像、動画の記録や再生が可能

SDカードに入力映像の静止画保存や動画録画することが可能です。
また、保存・録画した Data を再生表示させることも可能です。



保存した静止画像に文字入力が可能

表示させた静止画像に英数字・記号を任意の位置に挿入し、記録することが可能です。



無線 LAN(WLAN)による画像転送

本製品から携帯端末へ画像の伝送を行ったり、携帯端末から本製品の一部機能
操作することが可能です。



バッテリー動作

モニタレコーダーにバッテリーを内蔵しておりますので、AC100V が無い環境下でも
本製品を使用することが可能です。



画像ズーム表示、反転(回転)表示機能

画面表示エリアの映像を拡大表示したり、モニタレコーダー表示画像を 180°回転
表示させることが可能です。

Ⅲ. 各部の名称

本製品の各部の名称は以下の通りです。

①電源スイッチ

モニターレコーダーの電源スイッチです。
電源の入/切の際に操作します。

②電源ランプ

電源の状態を表します。
モニターレコーダーの電源がオンすると
緑色に点灯します。
充電時には赤く点灯します。

③DC IN

モニターレコーダーの電源ジャックです。
ACアダプタを接続します。

④VIDEO IN

モニターレコーダーへの映像入力端子
です。RCAピンプラグ付きの映像コード
でカメラなどの映像機器と接続しま
す。

⑤VIDEO OUT

モニターレコーダーからの映像出力
端子です。RCAピンプラグ付きの
映像コードでモニタなどの外部映像
機器と接続します。

⑥日除けフード

直射日光でモニタが見づらい時に
角度を調節します。

⑦モニタ画面/タッチパネル

映像入力を表示します。
タッチにて本製品を操作します。

⑧三脚固定穴

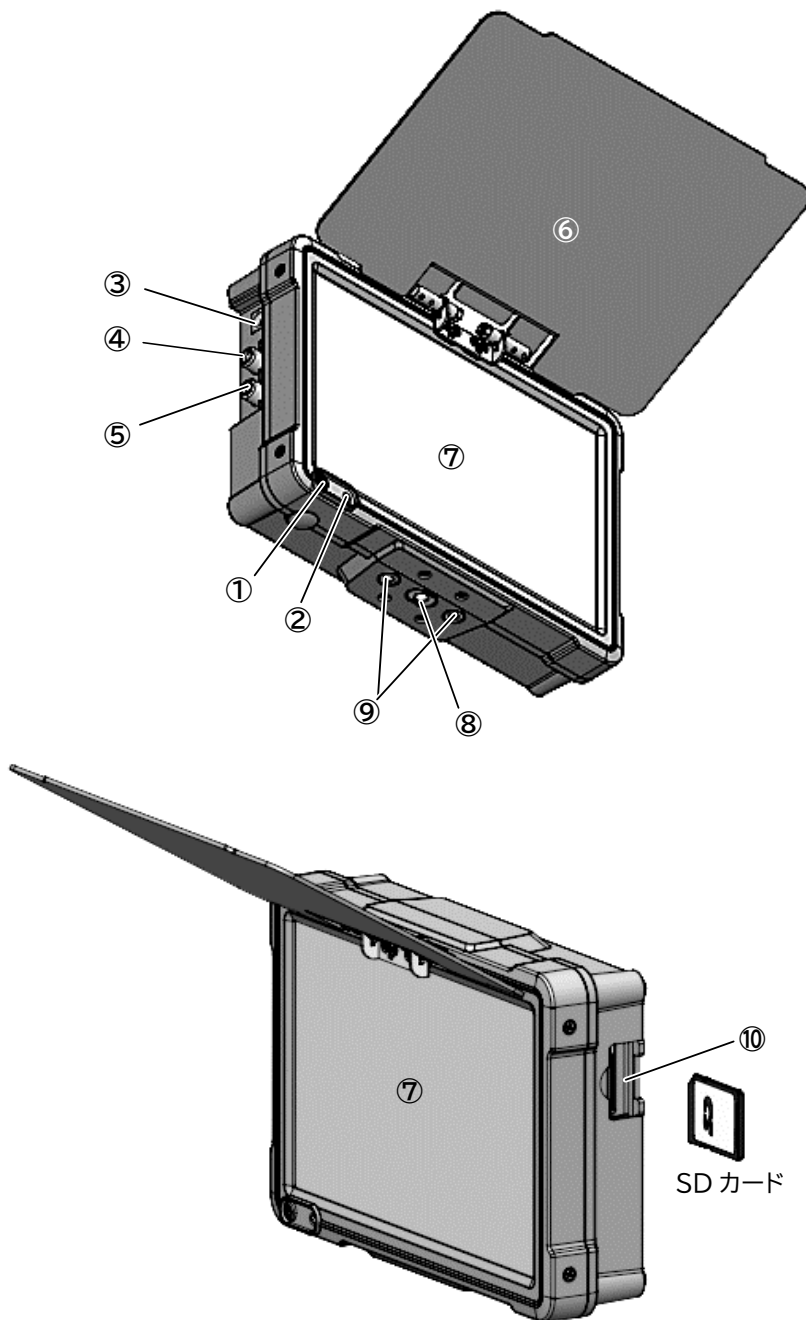
三脚で本体を一時固定するときに
使用します。

⑨本体固定穴

本体を設置するときに使用します。
M4ネジを使用して固定します。

⑩SD スロット

映像記録用のSDカード挿入口です。
製品出荷時はSDカードが挿入されています。

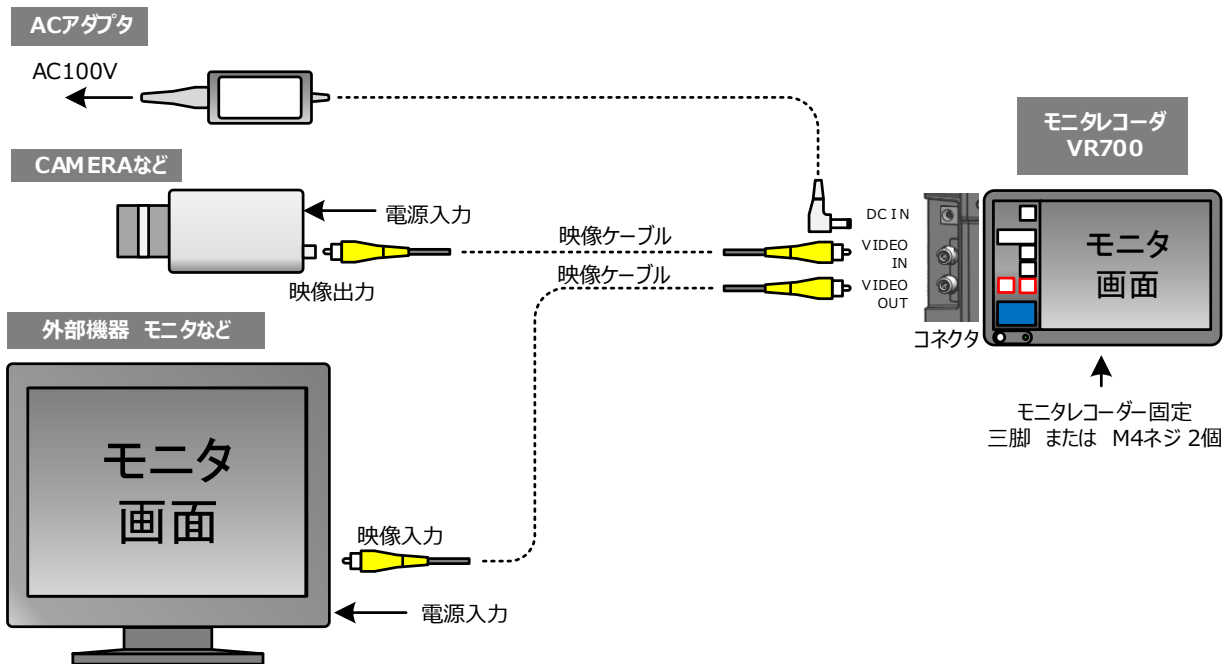


IV. 機器の設置と接続

1. 機器の準備

- ・本製品、およびカメラ等の映像機器をご準備下さい。
- ・接続に使用する AC アダプタ、接続ケーブルおよび固定部品なども合わせてご準備下さい。
- ・モニタレコーダーの映像を大きな画面で表示する場合には、必要に応じて外部モニタと映像ケーブルをご準備下さい。

代表的な接続・設置方法は、以下の図を参考して下さい。



⚠ 注意

●準備する映像機器

- ・国内使用の場合は、通常は「NTSC」フォーマットの映像機器を準備してください。
- ・お客様の御都合により「PAL」タイプの映像機器をご使用になる場合には、モニタレコーダーを「PAL」モードに設定してからご使用下さい。
- ・「PAL」モードに設定すると、映像出力も「PAL」仕様になります。
外部機器も「PAL」フォーマットの映像信号を入力可能な機器をご用意下さい。

●その他の準備

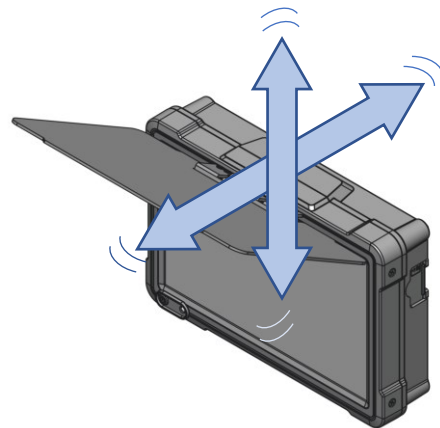
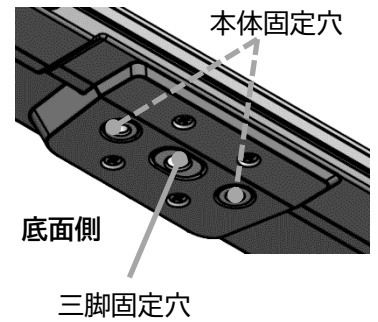
- ・本製品および各機器へ電源を供給する「ACアダプタ」などの電源機器は、機器定格に適したものを選定して下さい。
- ・本装置用の電源にはオプションのACアダプタ(12V 2.5A品)のご使用を推奨します。販売元までお問い合わせ下さい。
- ・映像接続用にRCAピンプラグ付きの映像ケーブルをご準備下さい。
なお、映像ケーブルが長い場合は、映像の減衰により映像品質が低下する場合があります。
その場合には信号帯域特性の高い同軸ケーブルに切り替えるなどして、映像を改善して下さい。
(映像品質面のご相談についても販売元へお問い合わせ下さい)

※映像品質の低下: 解像度の低下 / 像の輪郭のボケ / 色のにじみ / 同期ズレ / 色なし など

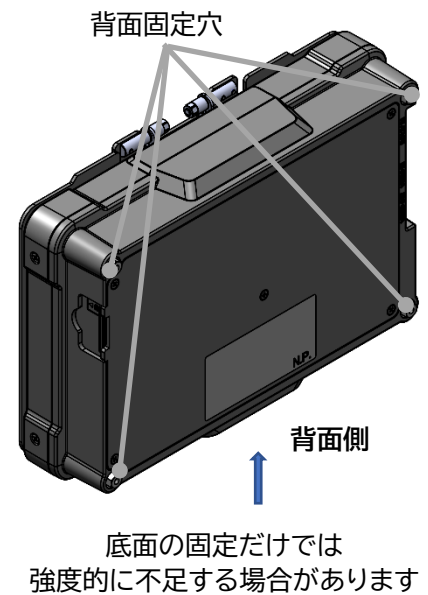
2. 本製品の設置・固定

本製品の底部には、本体固定用の三脚固定穴および本体固定穴を設けています。本体を固定する場合は、これらの穴を使用して下さい。

- ・三脚固定穴 1/4-20UNC 挿入可能ねじ長さ 5.5mm
三脚などに固定し、一時的にモニタレコーダーを設置、仮置きする場合に使用します。
- ・本体固定穴 M4 挿入可能ねじ長さ 5.5mm (2箇所)
モニタレコーダーを別の機器に恒久的に設置、固定する場合はこの本体固定穴をご使用下さい。
但し、振動や衝撃が加わる場所には固定しないでください。
振動や衝撃が心配される場合は、背面固定穴を使用して本体を固定してください。



- ・背面固定穴 M3 挿入可能ねじ長さ 3.5mm (4箇所)
振動や衝撃が加わることが心配される場合は、背面固定穴を使用して本体を固定してください。



⚠ 注意

●モニタレコーダーを設置する場所

- ・モニタフードの開閉で取付側の機器に干渉しないようご注意ください。
- ・接続されるケーブルが取付側の機器に干渉しないようご注意ください。
- ・接続されるケーブルコネクタ部に荷重がかかることによって、モニタレコーダーのコネクタ部に無理な力が加わらない様にして下さい。
- ・故障の原因になりますので、本製品を衝撃や振動が加わる場所に設置しないでください。
やむを得ず衝撃や振動が加わることが心配される場所へ設置する場合は、底面の固定穴ではなく、背面固定穴を使用して固定してください。

●固定するネジについて

- ・三脚固定穴、本体固定穴 共にネジ深さが5.5mmの仕様です。3mm以上 5.5mm以下の挿入長さにして下さい。
三脚固定ネジは、挿入深さが5.5mm以下になる様に三脚側を調整し、モニタレコーダーを固定して下さい。
本体固定穴は、挟まれる板金ワッシャなどの厚さを加味し、挿入ネジ長が5.5mm以下になるよう固定ネジ長を選択して下さい。
- ・背面固定穴はネジ深さ3.5mm以下になる長さのM3ネジをご使用ください。

3. 接 続

映像入力接続

カメラや映像機器の「VIDEO OUT」や「映像出力」端子と本製品の VIDEO IN 端子を映像ケーブルで接続します。

黄色の RCA ピンプラグ付き映像ケーブルをご準備いただき、本製品 左側面の「VIDEO IN」端子にケーブルを接続します。

(オプションで映像ケーブルを用意しております。ご用命の際は販売元までお問合せ下さい。)

※映像ケーブルの接続先(カメラおよびその他映像機器)の接続・取り扱い情報は、お使いにある機器の取扱説明書などをご参照下さい。

映像出力接続

外部機器にモニターレコーダーの画像表示エリアを映像出力することができます。

モニタなどの外部機器の「VIDEO IN」や「映像入力」端子と、本製品の VIDEO OUT 端子を映像ケーブルで接続します。

黄色の RCA ピンプラグ付き映像ケーブルをご準備いただき、本製品 左側面の「VIDEO OUT」端子にケーブルを接続します。

(オプションで映像ケーブルを用意しております。ご用命の際は販売元までお問合せ下さい。)

外部機器は、カメラなど映像を提供する機器のテレビフォーマット(NTSC 方式または PAL 方式)の映像信号に適合するものをご準備下さい。

※本製品は、NTSC に出荷設定されています。

※各機器の映像フォーマットが異なると正常に映像が表示されなくなりますので、ご使用前に使用される機器の映像フォーマットを確認し、本製品を適切に設定したうえでご使用下さい。

※外部機器に接続する際は、必ず各機器の電源が切れていることを確認して下さい。

電源接続

本製品左側面の「DC IN」に AC アダプタの DC プラグを差し込みます。

AC アダプタの電源コードをコンセント(AC100V)に接続します。

※バッテリーが充電可能な場合は、赤く電源ランプが点灯します。

! 注 意

●使用する電源について

- ・電源にはオプションのACアダプタのご使用を推奨します。
推奨品以外のACアダプタをご使用したり、電源ユニットから給電する場合は、本製品の仕様を満足しなかったり、正常に動作しないばかりでなく、故障・火災・ノイズなどの原因になる恐れがあります。
必ずお客様ご自身で動作、性能確認を行ったうえでご使用下さい。

●ご使用時の注意(一般事項)

- ・電源コードは、雨・雪・紫外線にさらされると劣化し、事故・故障・ケガの原因となりますのでご注意ください。
- ・電源コードは使用前後に必ず点検を行い、キズ・ヒビ割れなどの破損がある場合はそのまま使用せず、新しい物と交換して下さい。
- ・万が一使用中に故障や火災が発生した場合、すぐにAC電源(電源コンセント)から電源コードを抜いて下さい。

V. 操作手順

⚠ 注意

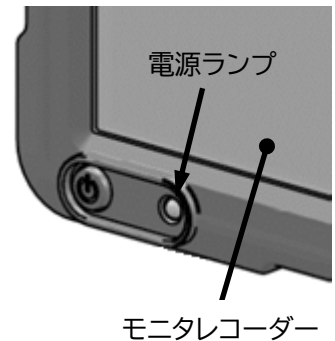
●本製品ご使用前に

- ・本製品を使用する前に必ず接続されるコード、ケーブル類などにキズや割れ等が無いことを確認して下さい。
- ・必ず電源仕様が適合する AC アダプタをご使用下さい。
- ・本製品の画面や筐体に無理な力を加えないで下さい。
- ・充電してご使用下さい。

1. バッテリーの充電

AC100V が無い環境下で使用される場合は、事前にバッテリーの充電を行って下さい。

- ①本製品に AC アダプタが接続されていることを確認します。
- ②電源が OFF になっていることを確認します。
※モニタレコーダーの電源ランプが消灯していることを確認します。
- ③電源コードのプラグを AC100V コンセントに接続します。
※バッテリーが空(バッテリーアイコン メモリ1)の状態から概ね4時間程度で充電が完了します。



モニタレコーダー電源ランプが赤色点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、電源ランプは消灯します。

⚠ 注意

●バッテリーの充電に関して

- ・ご購入後は、必ず最初に充電を行って下さい。
また、長期間使用されない場合も定期的に充電を行って下さい。
(バッテリーは長期間放置すると性能が劣化することがあります。3か月程度に一度、10分程度の充電を行うことでバッテリーの内部状態が改善され、性能の劣化を防ぐことができます。)
- ・バッテリーの充電は、直射日光が当たらない 周囲温度 0～40℃の環境で必ず行って下さい。
周囲温度を逸脱した環境で充電を行った場合、保護機能が動作し、充電を自動停止する場合があります。
また、バッテリーの劣化加速や故障や破損の原因となります。
- ・低温時、バッテリーの特性上十分に充電できない場合があります。

2. 起 動

以下手順を確認のうえ、作業を開始して下さい。

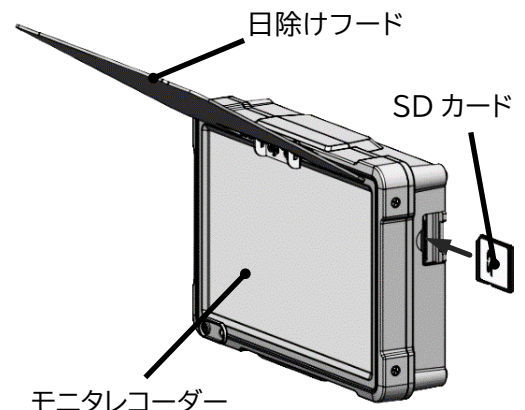
- ①本製品を操作しやすい様に三脚や、お客様がご用意された機器に取り付けます。

→IV. 機器の設置と接続 2. 本製品の設置・固定
ご参照下さい。

- ②モニタレコーダー右側面に SD カードを挿入します。

※ご購入時は、既にモニタレコーダーに挿入済みとなっておりますので、ご確認下さい。

- ③日除けフードを上げ、モニタが見やすい位置にセットします。



④ACアダプタをモニターレコーダーに接続し、電源コードのプラグを AC100V コンセントに接続します。

※IV. 機器の設置と接続 3. 接続 をご参照下さい。

⑤モニターレコーダーの前面下側の 電源スイッチ を1秒程度押して電源を ON にします。

モニターレコーダーが起動し、しばらくすると映像が表示されます。



⚠ 注意

●システム起動中(弊社ロゴ表示中)は、電源スイッチを押さないで下さい。

- ・システム起動中に電源スイッチを押すと、正常に起動しない場合があります。
- しばらくしても映像が表示されない場合は「強制電源 OFF」を行い、一度電源を OFF にして下さい。

3. 使用

本項では、操作の流れを説明します。

モニターレコーダーの各操作の詳細は VI. モニタレコーダーの操作 の項をご参照下さい。

①映像がモニタに異常なく表示されていることを確認します。

②必要に応じてモニターレコーダー画面内 “○ビデオ”、“○フォト” を押し、動画や静止画を記録します。

※記録する画質やサイズ、情報などの設定も可能です。

VI.モニターレコーダーの操作 「15. 各種設定」をご参照下さい。

③画面表示の変更(ズーム 画面反転)も必要に応じてご使用できます。

(ズーム、画面反転はモニタの表示のみの変更で、録画画像には影響しません)

④WLAN 機能を使い、モニタの表示画像をお手持ちの携帯端末で確認したり、本製品の一部の機能を操作することができます。

⑤操作・使用終了後、モニターレコーダーの 電源スイッチ を1秒程度押して電源を OFF にします。

(「電源を切りますか？」というメッセージが表示されますので「はい」を選択すると電源を切ることができます)

⑥モニターレコーダーがシャットダウン(電源 OFF)したことを確認し、接続機器や AC アダプタの電源を切ります。

⚠ 注意

●必ずモニターレコーダーの電源が OFF になったことを確認して下さい。

バッテリーを内蔵しているため、確実に電源を OFF にしないと、バッテリーで動作を継続し、バッテリーを消耗します。

●移動するときは接続を外して下さい。

電源や映像ケーブルを接続したまま移動すると、ケーブルが引っかかるなどしてケーブルやコネクタに力が加わり、機器の破損やケーブルの断線の原因になるばかりでなく、踏みによる転倒や怪我の原因になる場合があります。

⑦フード、モニターレコーダーを元に戻し、後片付けをします。

4. 移動・運搬

本製品を移動・運搬する際は、以下内容についてご注意ください。

- 本製品の電源が確実に OFF になっていること。
- 本製品に接続されたケーブル類が抜かれていること。
- 固定部から取り外されていること


⚠ 注意

- 本製品を移動する際は、接続コード類を外し、コネクタやコードに負担がかからない様にして下さい。
- 本製品使用終了後は、必ず電源コードと共に直射日光の当たらない屋内(0~40℃)に保管下さい。

⚠ 注意

- 本製品を複数台まとめ、同一梱包で輸送する場合は UN3841 PI967 Section II に従い梱包表示を必ず行って下さい。

本製品のモニタ内部には リチウムイオンバッテリー(リチウムイオン二次電池)が内蔵されています。

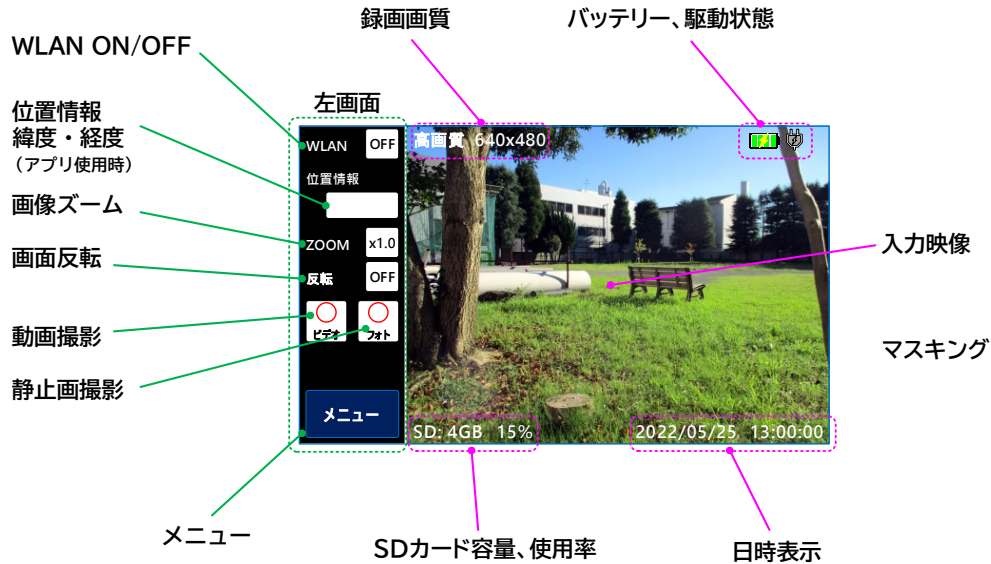
-  本製品に搭載されるバッテリーは 14.4V 3.15Ah のリチウムイオン二次電池(組電池)です。
バッテリーの質量は約200g です


VI. モニタレコーダーの操作

本製品の機能操作・操作は、全てモニタレコーダーの画面タッチパネルにて行います。
よく使用される機能は常時画面上に配置されており、感覚的に操作することが可能です。
ファイルの操作や詳細設定は、OSD MENU (On Screen Display Menu) にて行うことが可能です。

1. 表示画面内の名称

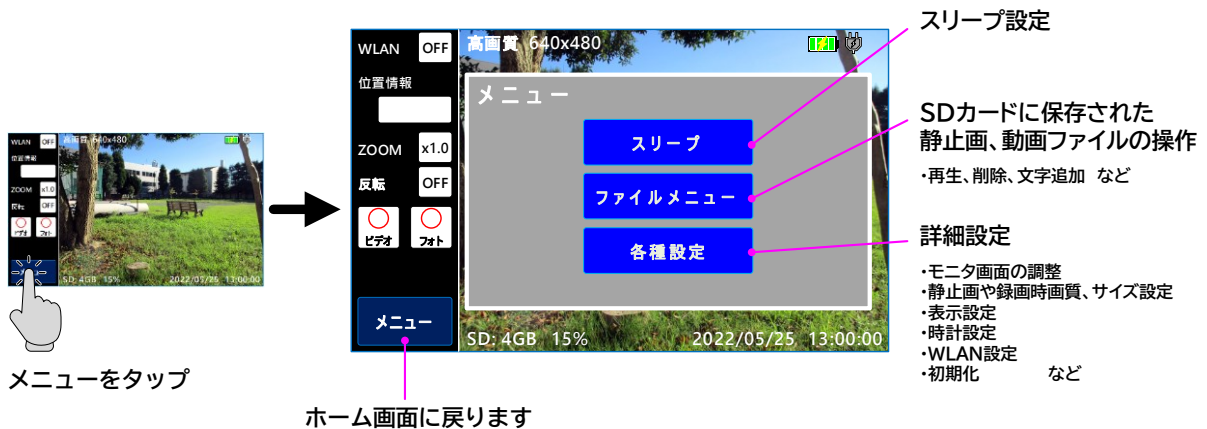
ホーム画面(通常画面)左側が 各操作、右側が 入力映像・情報表示 エリアとなります。



 左側エリアの各機能は、ホーム画面から直接操作・設定することが可能です。

2. OSD MENU 画面

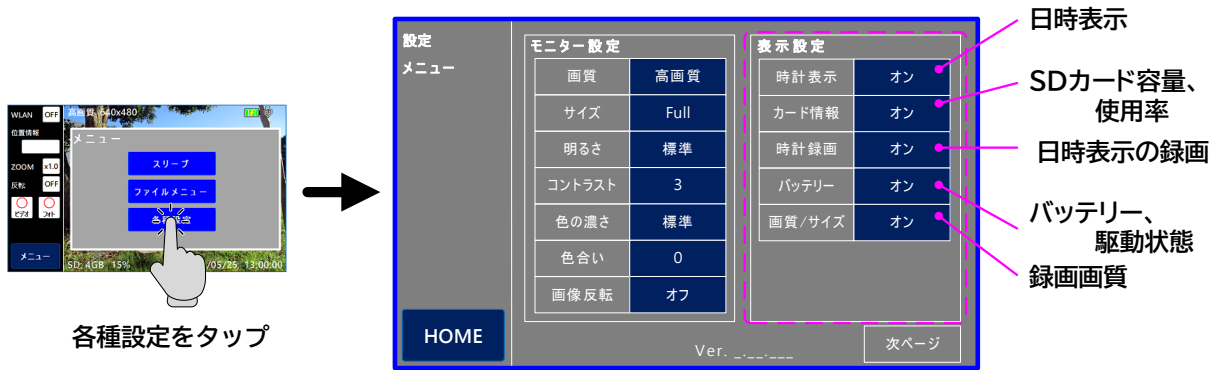
ホーム画面で [メニュー] をタップすると、メニュー画面が表示されます。



メニュー画面内の希望する項目をタップし、設定や操作を行って下さい。

3. 画面表示項目の設定


ホーム画面右側 入力映像表示エリア に表示させる情報の設定を行うことが可能です。
 情報設定の操作は、メニュー画面内 [各種設定] で行います。



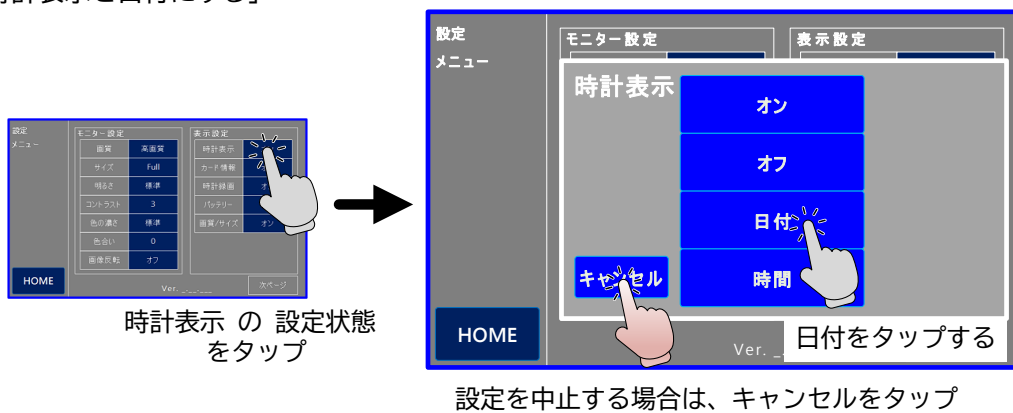
画面表示	設定項目	設定状態選択	静止画記録	動画記録
日時表示	[時計表示]	オン・オフ・日付・時間	[時計録画]による	[時計録画]による
SD カード容量、使用率	[カード情報]	オン・オフ	×	×
バッテリー、駆動状態	[バッテリー]	オン・オフ	×	×
録画画質	[画質/サイズ]	オン・オフ	×	×

設定状態を オフ にすると、入力映像に表示されていた情報が非表示となります。
 再度表示させたい場合は、オン に設定して下さい。

日時表示は、[時計録画]の設定状態で静止画・動画に記録可能です。(出荷時:オン)
 その他の表示 [SD カード容量、使用率表示][バッテリー、駆動状態表示][録画画質表示]は
 静止画、動画に記録しません。

 記録の日時を静止画・動画に記録したい場合は、必ず[時計録画]を オン にして下さい。
 ただし、[時計録画]を オン に設定していても、[時計表示]を オフ に設定すると記録
 されませんのでご注意下さい。

設定例「時計表示を日付にする」



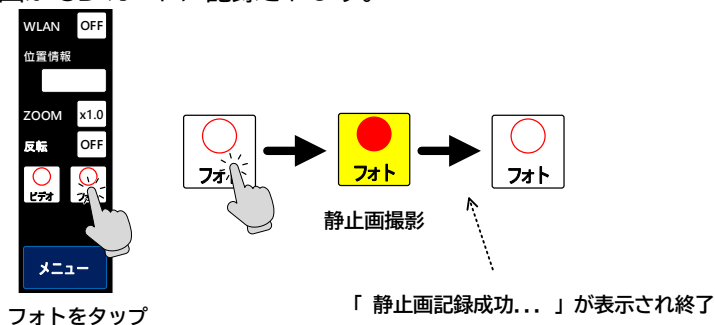
設定状態を選択すると、設定メニューに戻ります。
 ホーム画面に戻る場合は、[HOME]をタップして下さい。

4. 静止画・動画の記録

入力映像を静止画や動画で記録することが可能です。

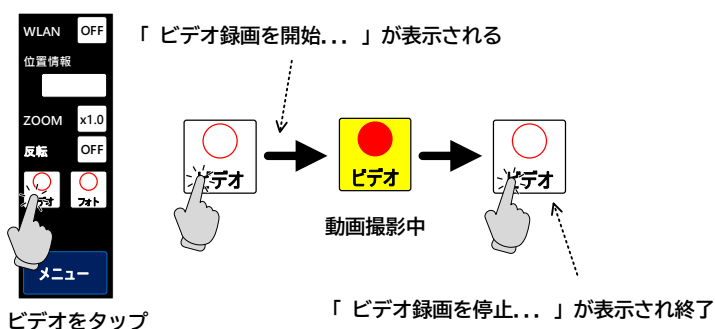
● 静止画を記録する

HOME 左画面の[フォト]をタップして下さい。
静止画が SD カードに記録されます。




◆ 動画を記録する

HOME 左画面の[ビデオ]をタップして下さい。録画が開始されます。

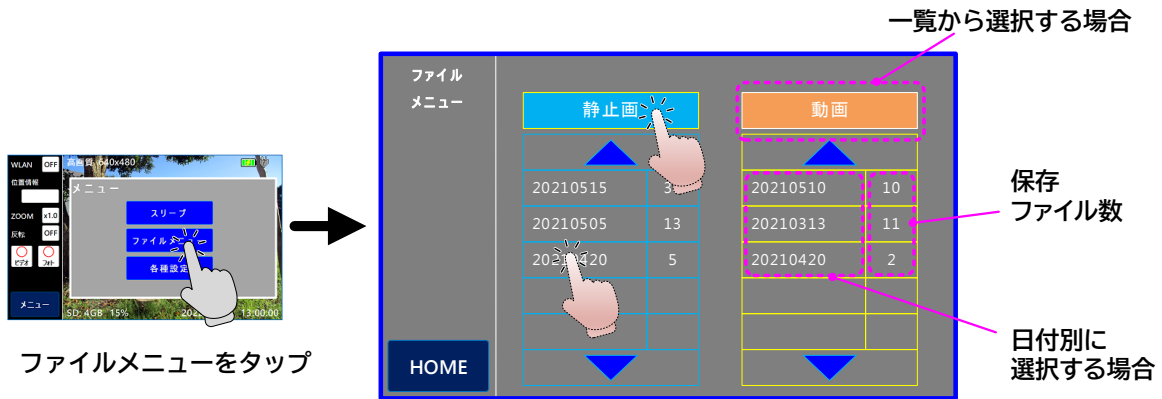


再度 HOME 左画面の[ビデオ]をタップして下さい。
録画が停止され、SD カードに保存されます。

 動画記録中に[フォト]をタップすると、タップ時の静止画像とチャプター登録が行われ、チャプター再生を行うことが可能となります。

5. 静止画・動画の再生

本装置で記録し、SDカードに保存された静止画や動画を再生することが可能です。
メニュー画面内[ファイルメニュー] をタップすると、ファイルメニュー画面が表示されます。



● 保存した静止画を表示させる

ファイルメニュー内の[静止画]をタップすると、保存された全ての静止画が一覧表示されます。記録した日付内から選択する場合は、該当する日付をタップします。

日付別で選択した場合、選択した日付が表示されます。



前・次ページがある場合、白文字で表示されます。

保存した静止画のサムネイルが表示されるので、一覧の中から表示させたいサムネイルを選択し、タップします。サムネイルの枠色が変わり、選択したファイル名が表示されます。[OK]をタップし、表示させます。

選択したファイル名が表示されます



複数選択すると表示できませんので、必ず1つだけ選択し、[OK]をタップして下さい。
[OK]の文字色が黒色になっていない場合、表示させることはできません。

◆ 保存した動画を再生する

ファイルメニュー内の[動画]をタップすると、保存された全ての動画が一覧表示されます。記録した日付内から選択する場合は、該当する日付をタップします。

日付別で選択した場合、選択した日付が表示されます。



前・次ページがある場合、白文字で表示されます。

選択したファイル名が表示されます

保存した動画のサムネイルが表示されるので、一覧の中から再生させたいサムネイルを選択し、タップします。サムネイルの枠色が変わり、選択したファイル名が表示されます。[OK]をタップし、再生画面に移動します。



チャプター再生が可能なファイルの場合、白文字になります。

再生画面になったら、再生(▶)をタップします。

ファイル名

[GPS] オンで位置情報が取得/記録された場合表示されます。



ファイル一覧に戻ります。

[距離表示] オンで録画した場合、表示されます。

[時計録画] オン、[時計表示] 設定状態によって表示されます。



再生 / 一時停止



再生中の動画を早送りします。タップごとに x4 → x8 → x1/4 → x1 と再生速度が変わります。



再生中の動画を早戻しします。タップごとに x4 → x8 → x1/4 → x1 と再生速度が変わります。

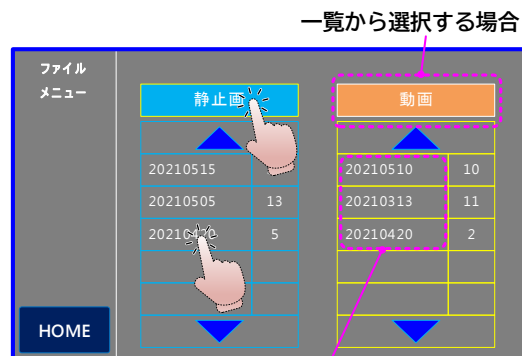


再生中にタップすると、タップ時の画像を静止画で保存します。

■ 保存したファイルを削除する

本装置で記録し、不要となった SD カード内のファイルを削除することが可能です。

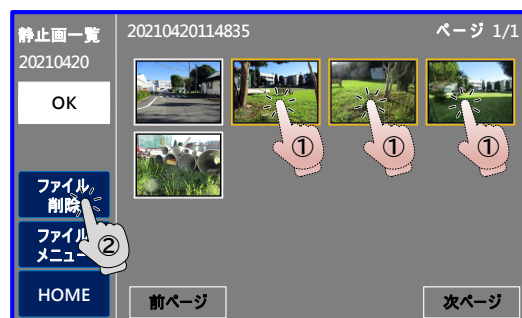
メニュー画面内[ファイルメニュー] をタップし、
ファイルメニュー画面を表示させます。
削除したいファイルの一覧画面を表示させます。



日付別を選択する場合

削除したいサムネイルをタップし、選択します。
※サムネイルの枠色が変わります。
選択を終えたら、[ファイル削除] をタップします。

確認画面が表示されますので、削除する場合は
[はい] を、再度選択もしくは中止する場合は
[いいえ] をタップして下さい。



静止画表示中や動画再生中に表示・再生させているファイルを削除することも可能です。

⚠ 注意

- サムネイルを何も選択しないで [ファイル削除] を行ってしまうと、保存した全ての静止画もしくは全ての動画が削除されてしまいますので、ファイル削除の際は十分ご注意ください。
一度削除してしまったファイルは、復元することはできません。

★ チャプター再生

設定メニューで[チャプター]をオンにし、動画記録中に[フォト]をタップしてチャプター登録された動画ファイルの場合、チャプター再生が可能です。

動画一覧を表示させます。
再生させたいファイルを選択します。
チャプター再生が可能なファイルの場合、
[チャプター]が白文字になります。



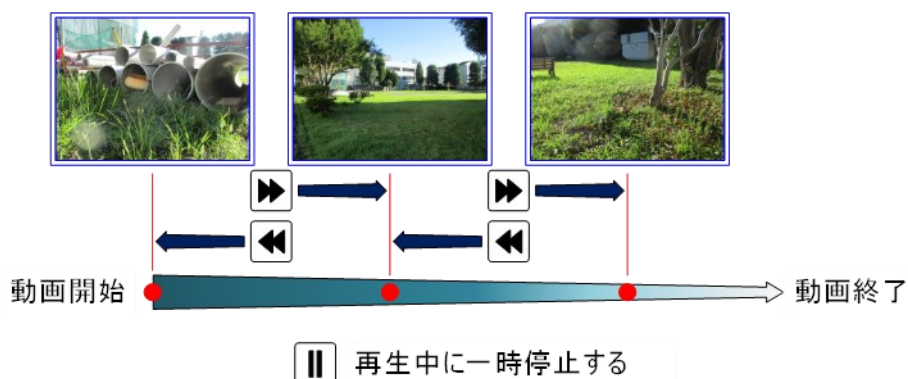
チャプターサムネイルから再生開始位置を選択したい場合は、[チャプター]をタップします。

チャプター一覧画面に移動したら、サムネイルを選択し、[OK]をタップして下さい。



再生画面になったら、再生(▶)をタップします。

動画再生中に次のチャプターに進む・戻る場合は、必ず一時停止の状態にし、▶▶(進む)または◀◀(戻る)をタップして下さい。一つ先もしくは一つ手前のチャプターに移動し、再生されます。



チャプター録画されたファイルは、設定メニュー内[チャプター]をオフにしてもチャプター再生が可能です。

6. 文字入力

保存した静止画に文字を追加することが可能です。

1) 静止画の選択

文字を追加したい静止画を表示させて下さい。
静止画再生画面内[文字追加]をタップし、
文字追加画面を表示させます。



2) 文字の入力

文字・数字を入力します。
入力を終わったら[OK]をタップします。

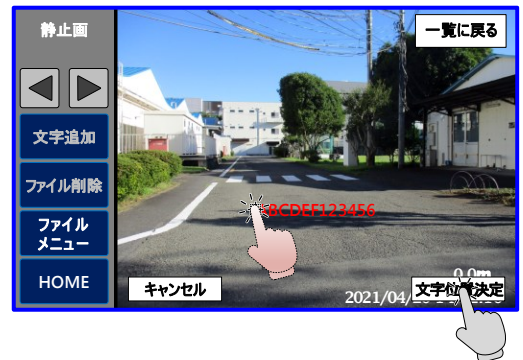
- 入力可能な文字種は 英数字・記号のみです。
(大文字、小文字、数字、記号、スペース)
- 一回に入力できる文字数は 12 文字までです。
- 文字色は 白・黒・赤・青・緑 から選択可能です。



3) 文字位置の決定

入力映像表示エリア内で、文字を配置したい箇所を
タップします。
配置場所を決めたら[文字位置決定]をタップします。
確認画面が表示されますので、決定の場合は[はい]を
もう一度位置を修正する場合は[いいえ]をタップします。

- 確認画面で[はい]をタップしてしまうと、
文字位置の修正はできません。

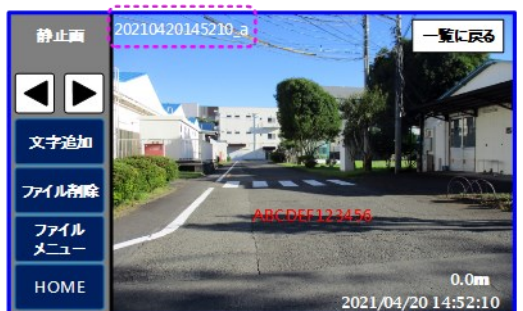


4) 画像の保存 及び 文字の追加

文字を追加した静止画の準備が完了しました。
→ 作業を終了し、画像を保存する場合は
[画像保存]をタップして下さい。
別ファイル名で文字を追加した静止画が保存されます。
→ 更に文字を追加する場合は、[文字追加]をタップし、
2)文字の入力 から作業を行って下さい。

- [画像保存]をタップするまでは、Data として
SD カードに保存されません。
作業途中でキャンセルや HOME 画面移動などを行
うと、作成した文字画面は消失してしまいます
のでご注意ください。

- [画像保存]をタップすると、元ファイル名の
末尾に _a(同ファイルに追加の場合は_b)を付け、
別ファイル名して保存されます。



7. WLAN(無線接続)

本製品は WLAN 通信を使用して、接続される携帯端末にて入力映像の確認や本製品の一部機能を制御することができます。



WLAN 通信は、携帯端末に専用のアプリ(Teli PipeView)をインストールすることでご利用が可能になります。

※Teli Pipeview は弊社製 管内検査カメラ TRS シリーズ用のアプリです。
一部のカメラ機能を除き、本製品でも共通で使用することができます。

利用可能な携帯端末 Android Ver.9以降の端末でご利用できます。
 iOS 最新バージョンにてご利用下さい。

各 OS のアプリは、App Store、Google Play よりダウンロード、インストールしてご使用下さい。
(弊社 HP 製品ページをご参照下さい)

- ・VR700 製品ページ
<https://www.toshiba-teli.co.jp/products/industrial-camera/monitor-vr700.htm>
- ・TRS シリーズ製品ページ
<https://www.toshiba-teli.co.jp/products/inspection-camera/trs3030a.trs3040a.htm>

WLAN 機能を使う

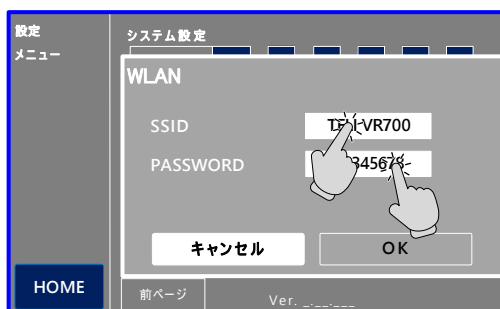
1)SSID・PASSWORD を設定する

WLAN 機能を使用する前に、必要に応じて SSID、PASSWORD を設定して下さい。

- ①設定メニュー内 システム設定「WLAN」を
タップします。



- ②WLAN の SSID と PASSWORD の状態が
表示されます。
「 SSID 」を変更する場合は SSID 設定部
(表示例では TELI VR700 部分)をタップします。



「 PASSWORD 」を変更する場合は SSID 設定部
(表示例では 12345678 部分)をタップします。

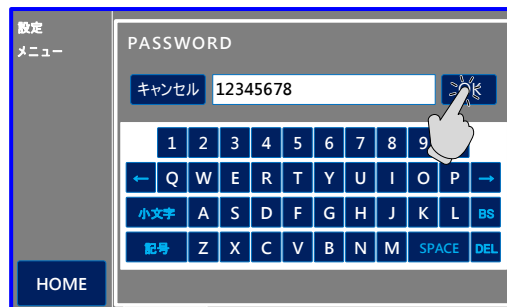
- ③SSID の設定をするときは、キーボードが表示される
ので任意に設定後、[OK]をタップします。
(8 文字以上 12 文字以内 英数字のみ)



設定しない場合は[キャンセル]をタップして下さい。

- ④PASSWORD を変更する場合は、キーボードが表示されるので、任意に設定後、[OK]をタップします。
(8 文字以上 12 文字以内 英数字のみ)

設定しない場合はキャンセルをタップします。



⚠ 注意

- 本製品を複数お持ちの場合は、製品それぞれを特定できる名称に SSID を変更してからご使用下さい。本製品は工場出荷時には共通の SSID・PASSWORD に設定されていますので、複数台同時に WLAN をご使用になると通信上の不具合が発生することがあります。

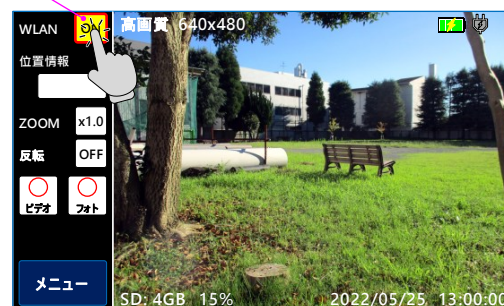
2)WLAN を ON する

HOME 左画面の WLAN [OFF]をタップすると、確認画面が表示されます。
[はい]をタップすると[ON]に切り替わり、点滅を開始します。

※ 点滅中は WLAN の初期化を行っています。

初期化が完了し黄色点灯になると WLAN が ON の状態になります。

WLAN ON/OFF



◆ Android 携帯端末の場合

お手持ちの携帯端末に専用のアプリ【 Teli Pipeview 】をインストール後、アプリケーションを起動します。





アプリケーションを起動すると「モニターと接続して下さい」と表示されるので、その部分をタップし、携帯端末の WLAN(Wi-Fi)設定を行います。


携帯端末の Wi-Fi を ON し、本製品の SSID(例では TELI VR700)が確認されたら SSID 部をタップし、接続を完了させます。

初めて接続するときは、PASSWORD [12345678]を入力します。

※Android 携帯端末は、メーカー、携帯端末により画面表示が異なる場合があります。

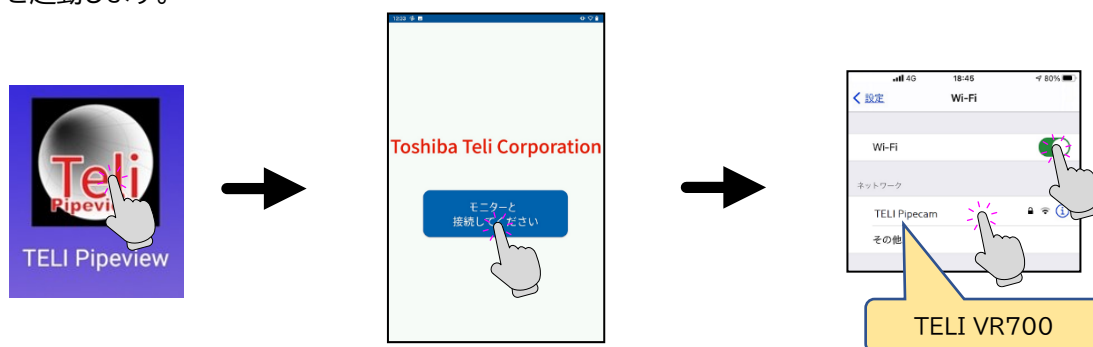
 専用アプリは、Google Play より “ TELI PIPEVIEW ” で検索して下さい。

 取扱説明書に表示している携帯端末の画面(スクリーンショット)は表示の例です。
使用端末および OS(Android または iOS)によって表示状態が変化します。


 使用される端末によって、文字が背景やボタンとずれることがあります。
文字の大きさを小さくすると表示と文字が合うことがありますので、必要に応じてお試しください。


◆ iOS 携帯端末の場合

お手持ちの携帯端末に専用のアプリ[Teli Pipeview]をインストール後、アプリケーションを起動します。



アプリケーションを起動すると「モニターと接続して下さい」と表示されるので、その部分をタップし、携帯端末の WLAN(Wi-Fi)設定を行います。
携帯端末の Wi-Fi を ON し、本製品の SSID(例では TELI VR700)が確認されたら SSID 部をタップし、接続を完了させます。
初めて接続するときは、PASSWORD [12345678]を入力します。

 専用アプリは、App Store より “ TELI PIPEVIEW ” で検索して下さい。

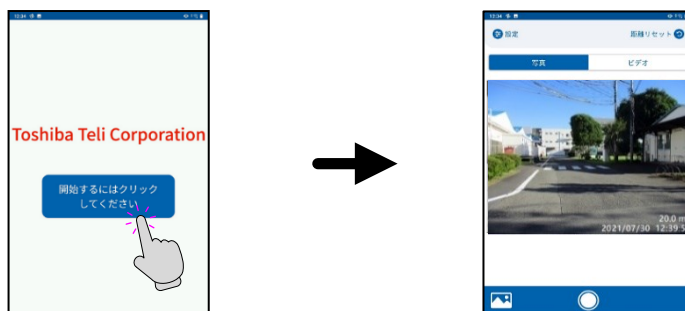
 iOS 携帯端末で、稀に携帯端末設定の影響によりログインできない場合があります。
※ 携帯端末の使用環境により、アプリからの設定要求が表示されない場合があります。

【対処方法】

ご使用の携帯端末にて《 設定 》 → 《 プライバシー 》 → 《 位置情報サービス 》と進み、“ Teli Pipeview ” を選択します。
「 この App の使用中のみ許可 」を選択し設定して下さい。

■ アプリケーションを使う

本製品とのWLAN接続後、一度設定ウィンドウを閉じて「Teli Pipeview」を起動して下さい。
[開始するにはクリックして下さい]とメッセージが表示されますので、その部分をタップするとモニターレコーダー本体の表示画像が携帯端末側にも表示されます。

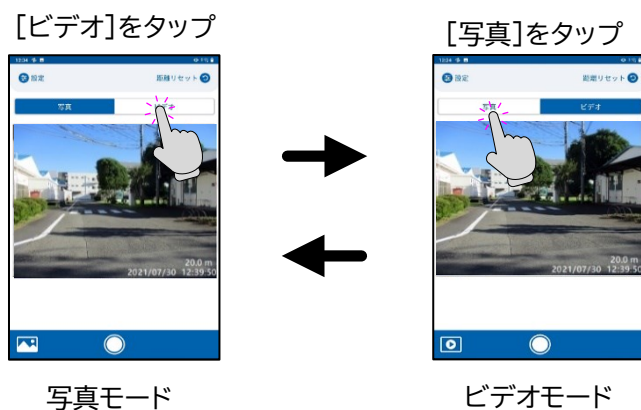


⚠ 注意

●WLAN通信機能は、電波干渉や本製品の設置環境などにより、通信接続が途絶えたり停止することがあります。

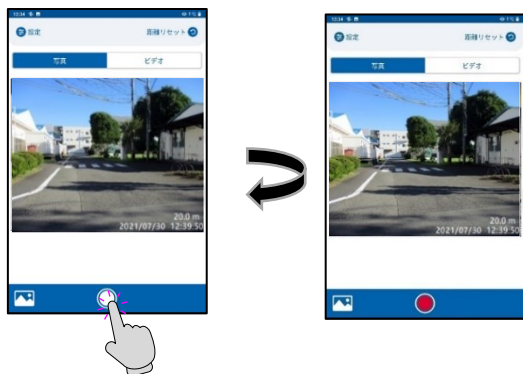
● 静止画記録・ビデオ録画

モニターレコーダー表示画像を記録する場合、**写真モード** と **ビデオモード** を選択できます。
アプリケーション起動時は写真モードに設定されています。
[ビデオ]をタップすると、ビデオモードに切り替わります。
ビデオモード時に[写真]をタップすると、写真モードに切り替わります。



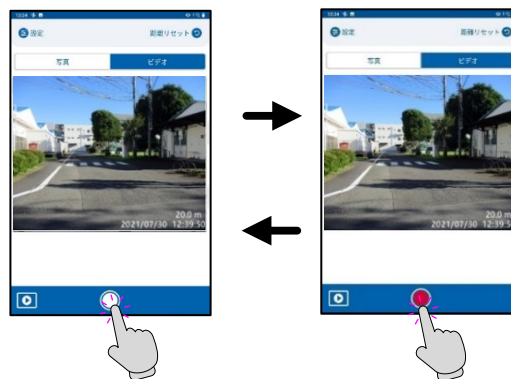
携帯端末を使用して、本製品の録画機能を操作できます。

写真(静止画)記録





シャッターボタンをタップするとモニターレコーダー側で静止画を記録します

ビデオ(動画)録画



シャッターボタンをタップするとモニターレコーダー側でビデオ(動画)録画を開始します
もう一度シャッターボタンをタップするとビデオ(動画)録画を停止します

-  無線 LAN(WLAN)通信によるストリーム伝送画像は、本製品のモニターレコーダーに表示されている画像に対し、一定の遅延を生じますが故障ではありません。
-  無線 LAN(WLAN)通信・操作中にストリーム画像の遅延が大きくなる場合があります。(通常1~2秒程度の遅延)
ストリーム画像の遅延が大きいと感じた場合は、一度アプリをログアウトしたのち再度ログインしたり、アプリの設定画面に移動し、ストリーム画面に戻ると改善されます。

● モニタレコーダーを設定

[設定] をタップすると、モニターレコーダー側の設定を閲覧、変更を行うことが可能です。

※ 設定の内容は、モニターレコーダーと同様です。

・画質

高:高画質 標:標準画質 低:低画質

・サイズの設定

Full (NTSC:640x480 PAL:720x540)
Small (NTSC:320x240 PAL:360x270)

・表示

距離表示 : 本製品では使用しません
時計表示 : 時計表示の ON/OFF
マスクング : 本製品では使用しません

・GPS

GPS の ON/OFF/シンクロを設定可能

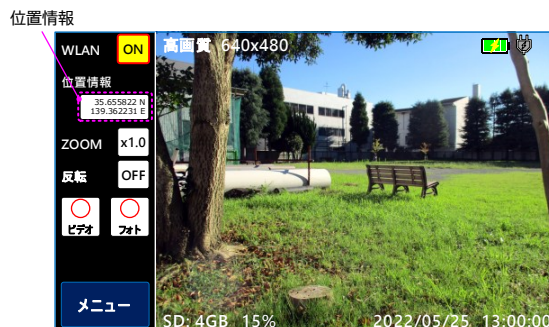
ON : 本製品では設定できません。
シンクロ : 携帯端末が持つ位置情報をモニターレコーダー側に送信します。



● 位置情報

本製品は、WLAN 機能によって携帯端末より位置情報を取得し、録画画像に登録することができます。

位置情報を取得すると、緯度、経度が画面に表示されます。



位置情報取得状態で画像を記録すると、画像ファイルに位置情報も併せて記録します。

※ 位置情報確定前は、位置情報が 0 (ゼロ) 設定となりますのでご注意ください

- ・静止画 : EXIF 情報を記録します。EXIF 情報には、緯度、経度の他高度も記録されます。
- ・動画 : 位置情報は動画と同時に生成される.srt ファイルに記録されます。
位置情報が記録された動画を本製品で再生すると、画面下部に位置情報を表示します。

⚠ 注意

- SIM カードを持たない携帯端末の場合、ネットワークに接続されないため位置情報が確定していない場合があります。
GPSシンク機能をご使用の前に携帯端末をネットワークに接続し、位置情報を取得後ご利用下さい。



位置情報が記録された静止画を利用して録画した場所を特定する場合、EXIF 情報を表示・確認可能なアプリケーションをご準備下さい。地図ソフトと連携することで、録画した場所を特定、表示することが可能になります。


● モニタレコーダーに保存された画像の確認

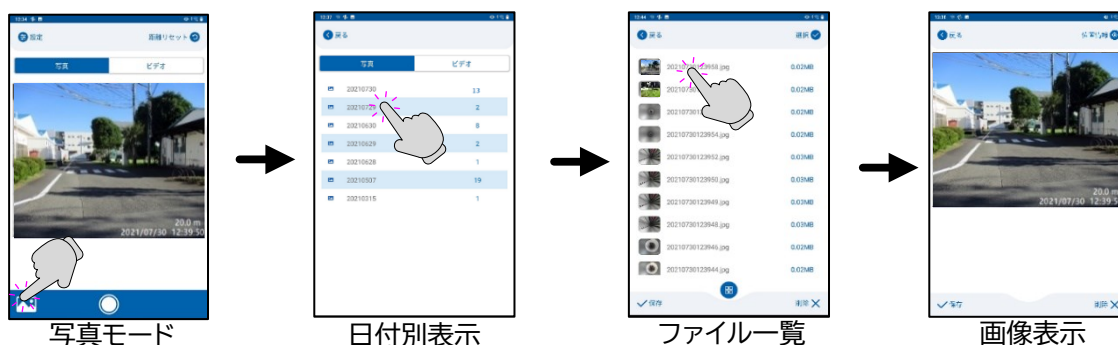
モニタレコーダーのSDカード内に保存された画像データを、携帯端末側で閲覧できる他、削除、保存を行うことができます。

⚠ 注意

- 専用アプリ[Teli Pipeview]を操作時(特にファイル操作時)は、モニタレコーダーでのファイル操作は行わないで下さい。
また、モニタレコーダーでファイル操作を行う場合は、専用アプリでファイル操作を行わないで下さい。
本製品(モニタレコーダー)及び専用アプリが誤動作する場合があります。


・静止画の閲覧

写真モードにて、[]をタップすると、モニタレコーダーSDカード内の静止画ファイルを閲覧できます。
日付別に表示されますので、確認する日付をタップし、静止画ファイル一覧よりファイルを選択して下さい。



日付別表示ではビデオモードに切り替えられます



ファイル一覧ではタップしたファイルを画面表示するほか、[]でファイルを選択し、保存または削除が可能です。




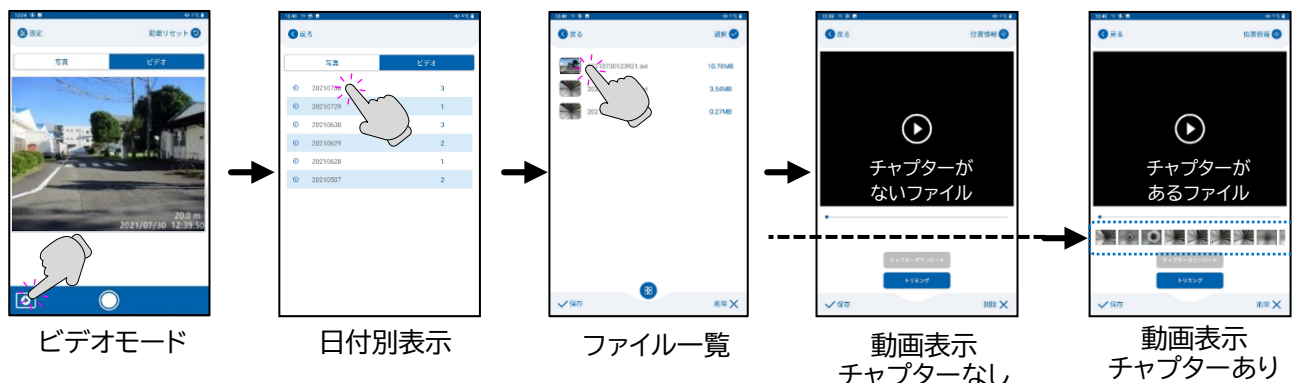
Android 携帯端末の場合、保存したファイルは“Download”フォルダに保存されます。
iOS の場合、携帯端末のストレージエリアへ保存され「写真」アプリよりファイルを閲覧できます。
画像表示画面でもファイル保存または削除が可能です。








⚠ 注意

- ファイルを削除しますと、モニタレコーダー本体のSDカードからデータが削除されます。
データは復元できませんのでアプリケーションからのファイル削除操作は十分注意して実施して下さい。

・動画の閲覧

ビデオモードで[]をタップすると、モニタレコーダーSD カード内の動画ファイルを閲覧できます。
日付け別に表示されますので、確認する日付をタップし、動画ファイル一覧よりファイルを選択して下さい。



-  日付別表示では写真モードに切り替えられます
-  ファイル一覧ではタップしたファイルを画面表示するほか、[]でファイルを選択し、保存または削除が可能です。
-  ファイルを保存した場合、携帯端末の“Download”フォルダに保存されます。動画表示画面でもファイル保存または削除が可能です。
-  []をタップすると動画の再生を開始します。
チャプター登録された動画の場合は、再生画像の下部にチャプターが表示されます。
チャプターを選択すると、チャプター部分から画像再生ができます。
-  Android 携帯端末の場合、保存したファイルは“Download”フォルダに保存されます。
iOS の場合、携帯端末のストレージエリアへ保存され「写真」アプリよりファイルを閲覧できます。

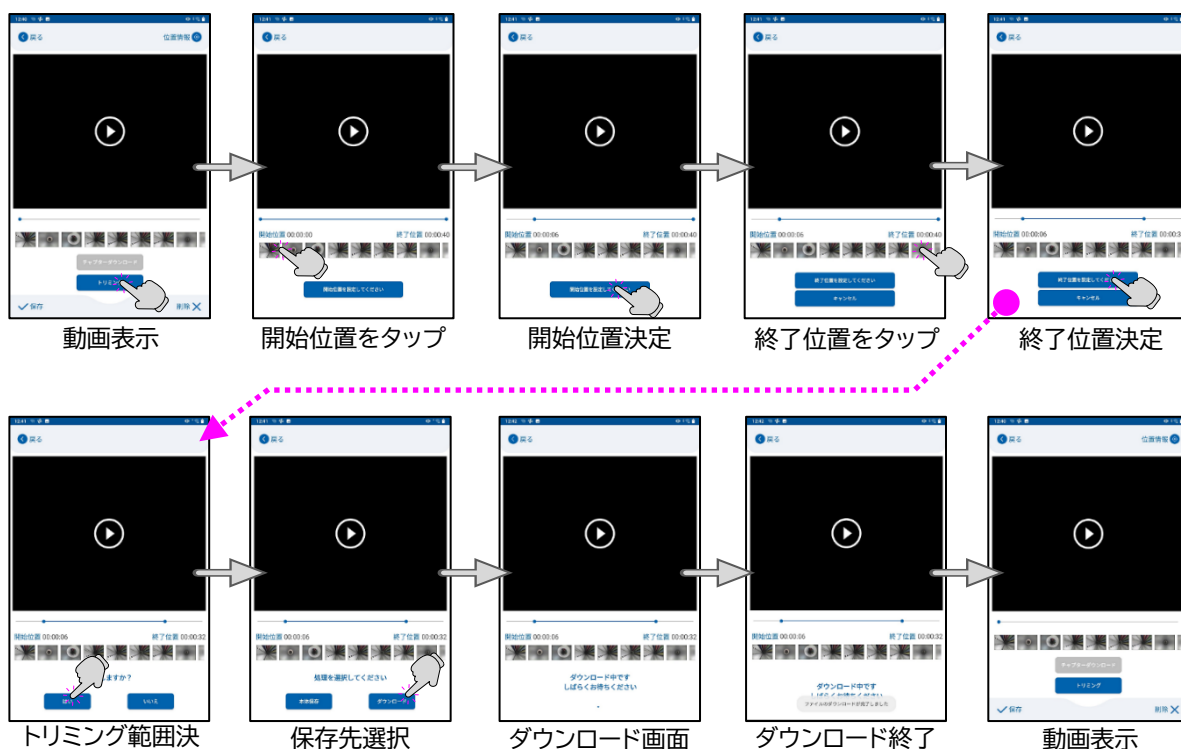
⚠ 注意


- ファイルを削除しますと、モニタレコーダー本体の SD カードからデータが削除されます。
データは復元できませんのでアプリケーションからのファイル削除操作は注意して実施して下さい。
- 動画のダウンロードでは、大容量のデータを無線通信することから、画像のサイズや通信状態によって保存を失敗したり、ダウンロードが長時間化する場合があります。
サイズが大きい動画ファイルをダウンロードする場合は、「トリミング」機能をご活用下さい。


・トリミング機能

大容量の動画ファイルを携帯端末へダウンロードする場合、通信状態によって保存を失敗したり、ダウンロードが長時間化する場合があります。

トリミング機能は画像の一部を切り取って保存する機能で、切り取った画像はモニターコーダー本体のSDカード内へ保存、または携帯端末へダウンロードすることが可能です。



 トリミングには一定の時間がかかります。小容量のファイルの場合は、ファイルそのものをダウンロードの方が短時間で処理が終了します。

 トリミング処理を行う際、SDカード内の空き容量を利用して処理を実行します。SDカードの空き容量が少ない場合、トリミング処理ができない場合があります。

・ダウンロードしたファイルの閲覧

◆ Android 携帯端末の場合

Android 携帯端末の“Download”フォルダにファイルが保存されます。

保存された静止画、動画を選択し、ファイルを閲覧します。

なお、動画については Android の標準プレーヤーでは再生できない場合がありますので、H.265 形式のビデオを再生可能なアプリケーションをダウンロードして閲覧して下さい。

ファイル再生可能なアプリケーション(動作確認済みの代表的なアプリケーションです)

VLC for Android
KM Player
XPlayer

など

下記の他社登録商標・商標、会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記していません。

※ Google Play , Android は、Google LLC の商標または登録商標です。

※ VLC for Android は VideoLAN software が提供するメディアプレーヤーの名称で商標または登録商標です。

※ KM Player は PandoraTV. が提供するメディアプレーヤーの名称で商標または登録商標です。

※ XPlayer は InShot Inc. が提供するビデオプレーヤーの名称で商標または登録商標です。

◆ iOS 携帯端末の場合

iOS 携帯端末標準の写真アプリでは、ダウンロードしたファイルを閲覧することができません。

H.265 形式対応のプレーヤー機能を持つファイル管理アプリ” Documents ”などをご使用下さい(ご使用を推奨いたします)。

iOS 携帯端末に静止画、動画を保存した後 ” Documents ” アプリを起動し、
《 ファイル 》 → 《 <ブラウズ 》 → 《 この iPhone 内 》にて
[Toshiba Teli] フォルダを確認できますので、表示させたいファイルを選択して下さい。

下記の他社登録商標・商標、会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記していません。

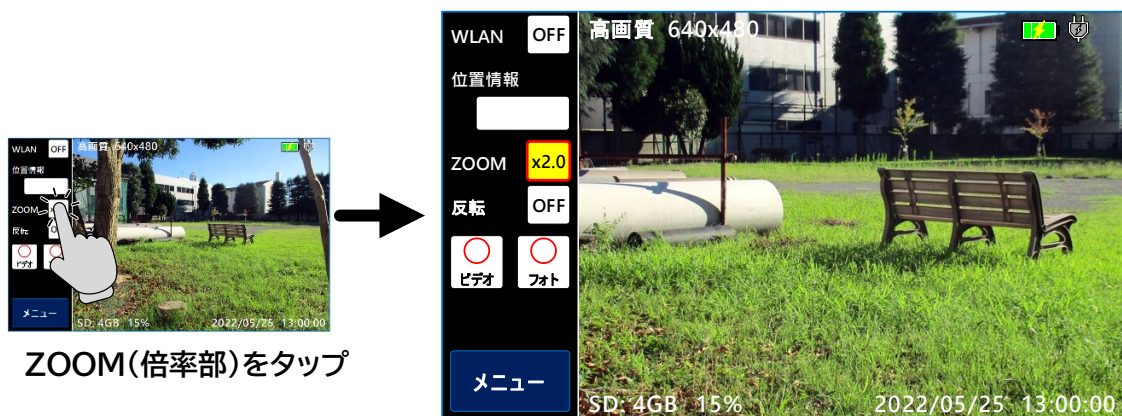
※ iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています

※ App Store は Apple Inc.のサービスマークです。

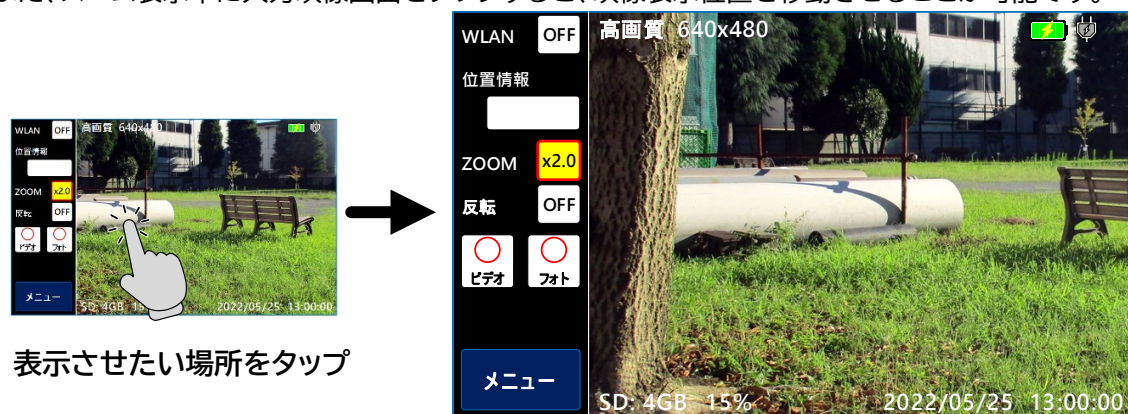
※ Documents は Reeddle Inc.が提供するファイル操作アプリの名称で商標または登録商標です。




8. ZOOM

ホーム画面左側の[ZOOM]倍率をタップすると、入力映像の表示倍率を変更することができます。



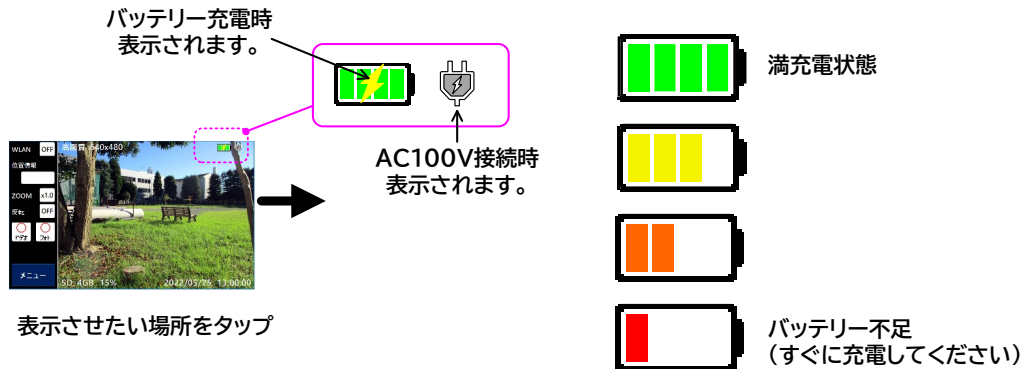
タップする毎に x1.5 → x2.0 → x3.0 → x1.0 と表示倍率が変化します。
また、ズーム表示中に入力映像画面をタップすると、映像表示位置を移動させることが可能です。



-  ズーム表示中に 静止画 や 動画 を記録しても、通常倍率(x1.0)で記録されます。
-  ズーム表示中の映像表示位置移動範囲は、倍率 x1.0 時の表示範囲内となります。
-  ZOOM 機能は HOME 画面(LIVE 画像表示時)のみで有効な機能です。
保存された静止画、動画を表示する場合は使用できません。

9. バッテリー情報

設定メニュー内 表示設定「バッテリー」を オン に設定すると、入力映像・情報表示エリアにバッテリーアイコンが表示され、バッテリー及び駆動状態を確認することができます。



⚠ 注意

- ご使用の前に必ず充電を行って下さい。
 - 本製品内蔵のリチウムイオンバッテリー保護のため、高温時及び低温時に以下のような動作をします。
 - ◇周囲温度が高いとき
 - 目安 35℃以上 「注意:バッテリーが高温になっています」を画面上に表示 (充電を停止)
 - 45℃以上 画面上にシャットダウンするメッセージが表示され、一定時間後シャットダウン実施
 - ◇周囲温度が低いとき
 - 目安 0℃以下 「注意:バッテリーが低温になっています」を画面上に表示 (充電を停止)
 - 10℃以下 画面上にシャットダウンするメッセージが表示され、一定時間後シャットダウン実施
- 注意メッセージが表示された場合は、直射日光を避ける・直接冷気を当てないなど対策を行って下さい。また、シャットダウンするメッセージが表示された場合は、録画等作業を停止し、シャットダウンに備えて下さい。
- 本製品を保管時する際は、定期的にバッテリーに充電して下さい(目安:3ヶ月ごと)

10. 電源ランプ

モニタレコーダー電源ランプの点灯状態で、動作状態を把握することが可能です。

駆動電源	モニタレコーダー	動作状態	電源ランプ
AC100V / バッテリー	起動時	開始準備	緑色点滅
AC100V	ON	使用中	満充電時 : 緑色点灯 充電中 : 橙色点灯
	OFF	-----	満充電時 : 消灯 充電中 : 赤色点灯
	-----	スリープモード	満充電時 : 緑色点滅 (約 2 秒間隔) 充電時 : 橙・赤交互点滅 (約 2 秒間隔)
バッテリー	ON	使用中	緑色点灯
		バッテリー容量不足時	3 秒間赤色点滅後、電源 OFF
	OFF	-----	消灯
-----	スリープモード	緑色点滅 (約 2 秒間隔)	

11. SD カード

本製品では、画像記録のため SD カードを使用します。製品には 16GB の SDHC カードを付属していますが、用途に応じてお客様ご自身で SD カードをご用意下さい。

★使用可能な SD カード

SDHC カード	4GB, 8GB, 16GB, 32GB
SDXC カード	64GB, 128GB, 256GB
スピードクラス	Class10 以上

★動作確認済み SD カード

東芝製	SDBR48N シリーズ
KIOXIA 製	KSDB-A シリーズ

上記以外のメーカー・型名の SD カードにつきましては動作確認がされておりませんので、ご使用になる場合はお客様の責任で動作確認の上ご使用下さい。



256GB の SD カードを使用した場合、メモリー容量が大きいため各動作におけるメモリーチェックに時間がかかり、他の容量の SD カード使用時よりも動作が遅く感じられる場合があります。通常は 128GB 以下の SD カードをご使用下さい。

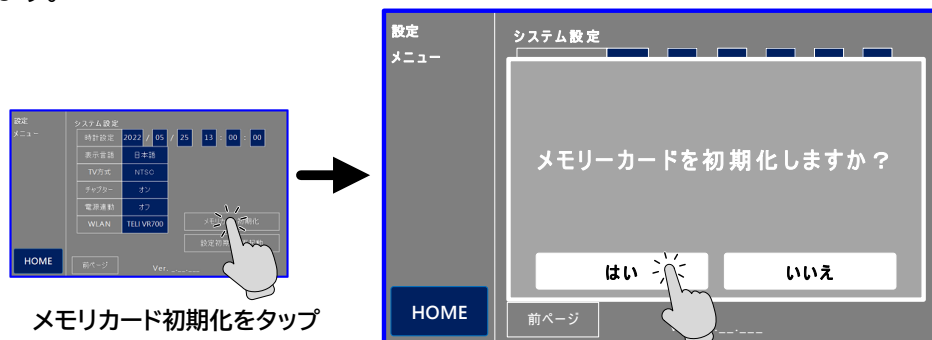
★ SD カードの初期化

SD カードの初期化を行います。

本製品で使用する SD カードは、必ず本製品で初期化してからご使用下さい。

設定メニュー内 システム設定「メモリーカード初期化」を タップします。

確認画面が表示されますので、初期化する場合は[はい]を、中止する場合は[いいえ]をタップします。



初期化が成功すると、「初期化成功」の確認画面が表示されますので、[OK]をタップして下さい。

初期化に失敗した場合は、一度 SD カードをモニターレコーダーから取り外し、再度挿入して初期化を実行して下さい。



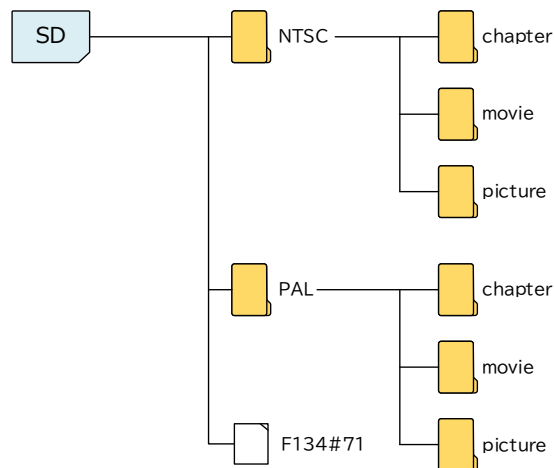
⚠ 注意

- [メモリーカード初期化] を実行すると、SD カード内全ての Data が消去されてしまいます。実行前に大切な Data が保存されていないか、十分注意して下さい。

★ SD カード内のファイル構成

SD カードを本製品でフォーマットし、画像ファイルを記録すると右図のようなファイルが構成されます。

PC で SD カード内を確認し、必要な画像データを PC へコピーしてご利用下さい。



- ・F134#71 ファイル 本製品で使用するために必要なシステムファイルです。
- ・NTSC フォルダ NTSC モードで使用すると、NTSC でフォルダが構築されます。
- ・PAL フォルダ PAL モードで使用すると、PAL でフォルダが構築されます。
このフォルダ内に以下の各画像データが格納されます。
- chapter フォルダ チャプターON で使用するとこのフォルダが作成され、チャプター時のサムネール画像とチャプター情報がこのフォルダに保存されます。
- movie フォルダ 動画記録するとこのフォルダが作成され、動画ファイル(.avi)と動画情報ファイル(.srt)が保存されます。
継続して録画すると、動画ファイルは 2 時間または 2GB で自動的に分割されて保存されます。
- picture フォルダ 静止画(.jpg)を記録するとこのフォルダが作成され、[フォト]で記録された画像を保存します。



本製品でフォーマット済みの SD カードを PC に挿しこむと「SD カードに異常が検出されました」等のメッセージが表示されることがありますが、F134#71 ファイルを検出した際にセキュリティ上の理由で表示されるものです。

スキャン、フォーマットなどせずにそのまま SD カード内を確認して下さい。



静止画ファイル(.jpg)ファイルは picture フォルダと chapter フォルダに保存されます。chapter フォルダと picture フォルダに記録される画像の画質は同等です。

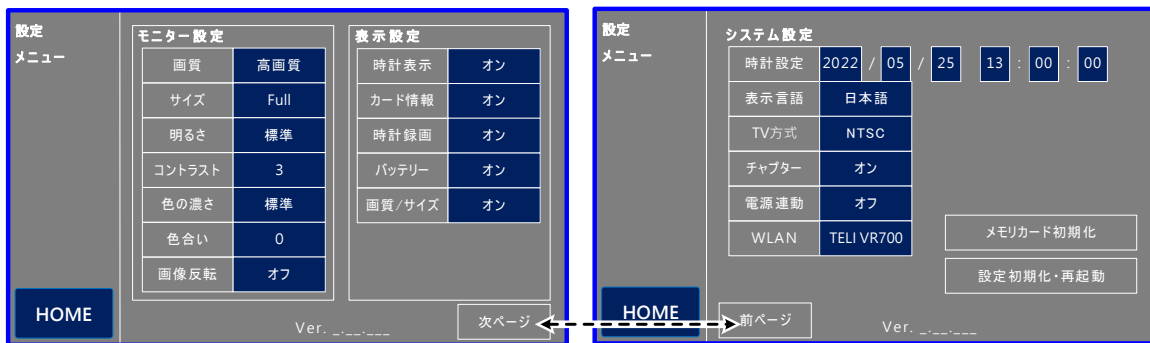
- ・chapter フォルダの画像データ
チャプターON によって動画記録時の画像とチャプター情報が保存可能になります。
動画記録時のスタート時のサムネール画像と動画記録中の[フォト]入力によってチャプター情報を記録した際のサムネール画像が保存されています。
- ・picture フォルダの画像データ
[フォト]入力によって記録される画像が保存されています。
チャプターが OFF の場合は、動画記録中の[フォト]入力は無効になりますので、ご注意下さい。

! 注意

- 本製品(モニタレコーダー)で SD カードに保存したデータを編集(ファイル名の変更や加工)する場合は、かならず保存したデータをパソコンにコピー(複製)してからパソコン上で行って下さい。
SD カード内の保存データを直接編集すると、モニタレコーダーが正しく動作しなくなる可能性があります。
また、パソコンで編集したデータは、モニタレコーダーで正しく再生させることはできませんので、パソコンで編集したデータをモニタレコーダーで使用する SD カードに保存しないで下さい。
- SD カードは内部データが破損するリスクを持っております。
定期的に保存データをパソコンに保存(バックアップ)し、SD カードの初期化をモニタレコーダーで実施して下さい。

12. 各種設定

設定メニューにて、モニター設定・表示設定やシステム設定を行うことが可能です。
ホーム画面で[メニュー]をタップし、メニュー画面を表示後、[各種設定]をタップして下さい。



● モニター設定

- | | | |
|----------|---|------------|
| ☆ 画質 | 記録する動画の画質を設定します。
高画質 / 標準 / 低画質 | 初期値 : 高画質 |
| ☆ サイズ | 記録する静止画のサイズを設定します。
Full (640x480) / Small (320x240) | 初期値 : Full |
| ☆ 明るさ | モニター画面の明るさを調整します。
高輝度 / 標準 / 低輝度 | 初期値 : 標準 |
| ☆ コントラスト | モニター画面のコントラストを設定します。
(暗)1 / 2 / 3 / 4 / 5(明) | 初期値 : 3 |
| ☆ 色の濃さ | モニター画面の色の濃さを設定します。
強 / 標準 / 弱 | 初期値 : 標準 |
| ☆ 色合い | モニター画面の色合いを設定します。
-2 / -1 / 0 / +1 / +2 | 初期値 : 0 |
| ☆ 画像反転 | モニター画面反転機能(180°回転)を設定します。
オンにすると、ホーム画面左側[反転]が有効になります。
オン / オフ | 初期値 : オフ |



「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「画像反転」の設定内容は、記録する静止画・動画には反映されません。

● 表示設定

- | | | |
|----------|------------------------------------|----------|
| ☆ 時計表示 | 日時表示を設定します。
オン / オフ / 日付 / 時間 | 初期値 : オン |
| ☆ カード情報 | SD カードのサイズ・使用率表示を設定します。
オン / オフ | 初期値 : オン |
| ☆ 時計録画 | 時計表示情報を動画に録画するか設定します。
オン / オフ | 初期値 : オン |
| ☆ バッテリー | バッテリー残量表示を設定します。
オン / オフ | 初期値 : オン |
| ☆ 画質/サイズ | 画質/サイズ表示を設定します。
オン / オフ | 初期値 : オン |

● システム設定

- | | | |
|--------------|---|------------|
| ☆ 時計設定 | 日付、時刻の設定を行います。
年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 | |
| ☆ 表示言語 | 表示する言語の設定を行います。
English / 日本語 | 初期値 : 日本語 |
| ☆ TV 方式 | 使用する映像機器に合わせて NTSC
または PAL に設定します。
NTSC / PAL | 初期値 : NTSC |
| ☆ チャプター | 動画記録時のチャプター挿入機能を有効に
するか設定を行います。
オン / オフ | 初期値 : オン |
| ☆ 電源連動 | 本製品に AC100V を供給開始したとき、
連動して起動させるか設定を行います。
オン / オフ | 初期値 : オフ |
| ☆ WLAN | 使用する WLAN の設定を行います。
初期 SSID : TELI VR700
初期 Password : 12345678 | |
| ☆ メモリーカード初期化 | 本製品で使用する SD カードの初期化を行います。 | |
| ☆ 設定初期化・再起動 | 各設定を初期値(工場出荷時状態)に戻します。 | |

⚠ 注意

- TV 方式を変更すると、システムが再起動されます。
- システム起動中(弊社ロゴ表示中)は、電源スイッチを押さないで下さい。
 - ・システム起動中に電源スイッチを押すと、正常に起動しない場合があります。
 - しばらくしても入力映像が表示されない場合は「強制電源 OFF」を行い、一度電源を OFF にして下さい。

13. スリープ設定

HOME 画面の MENU よりスリープに設定することができます。

スリープに設定すると、画面の電源を切ることによって消費電力を抑え、バッテリーの消費を軽減するほか、復帰したときにもすぐ使用可能な状態になるため、短時間の移動(検査場所を変更する場合)などに有効です。スリープ設定時はモニターコーダー画面が消え、電源ランプが点滅します。

スリープ設定から復帰するときは、電源スイッチを約1秒押し続けて下さい。すぐに使用可能な状態で復帰します。

⚠ 注意

- スリープ復帰後、WLAN は 必ず OFF となりますのでご注意ください。
 - ・WLAN の設定に関わらず、スリープ設定から復帰すると、WLAN は強制的に OFF となります。
 - WLAN をスリープ復帰後も使用される場合は、設定にて再度 ON にして下さい。

14. 強制電源 OFF

タッチパネルが反応しないなど操作不能となった場合、強制的に電源を OFF にすることが可能です。万が一操作不能となった場合は、モニターコーダーを再起動させて下さい。



- ① モニタレコーダーの電源スイッチを1秒程度押して下さい。
- ② 通常時は、確認画面が表示されたあと、再度モニタレコーダーの電源スイッチを「モニター画面が消灯するまで」長押しして下さい。
録画中は、[録画中です]が表示されるので、再度モニタレコーダーの電源スイッチを「モニター画面が消灯するまで」長押しして下さい。
約3秒間の長押しで強制電源 OFF が有効になり、モニタレコーダーがシャットダウンします
- ③ モニタレコーダーの電源が OFF になっていることを確認し、モニタレコーダーの電源スイッチを1秒程度押して電源を ON にします。

⚠ 注意

- 強制電源 OFF を行くと、記録中の静止画・動画は記録されない場合があります。
- 強制電源 OFF を行っても正常に動作しない場合は使用を中止し、販売元に修理をご依頼下さい。

Ⅶ. 故障と思う前に

本製品をご使用中に下記のような現象が発生した場合、修理を依頼される前に次の点をご確認下さい。
それでも正常に動作しないときはご使用を中止し、お買い上げの販売元にお問い合わせ下さい。

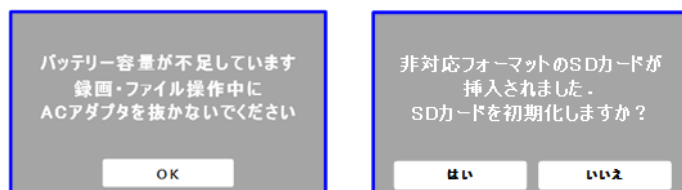
症 状	原 因	処 置
電源が入らない	ACアダプタの電源コードが外れている	電源コードを接続します。
	バッテリーの容量がない	バッテリーを充電します。
	電源スイッチを押す時間が短い	1秒程度押して下さい。
モニタレコーダー画面が表示されない	モニタレコーダーが OFF になっている	電源スイッチを押し、ON にして下さい。
	モニタレコーダーが スタンバイ (スリープ) になっている	電源スイッチを押し、ON にして下さい。
	映像入力に接続されていない	映像入力を接続します。
	バッテリーの容量がない	バッテリーを充電します。
タッチパネルが反応しない	画面上に異物、水滴などが着いている	乾いた布などで画面上をきれいに拭き取って下さい。
	2点以上の箇所画面に触れている	画面のタッチする箇所以外には触れないで下さい。
	手袋や濡れた指、鉛筆やボールペンなどで操作している。	静電容量方式のタッチパネルのため、素手もしくは静電容量方式用のタッチペンで操作して下さい。
	モニタレコーダーがシステムエラーを生じている可能性がある	Ⅵ.モニタレコーダーの操作「17.強制電源 OFF」を参照し、強制電源 OFF 後 再起動 を行って下さい。
静止画や動画を記録(保存)できない	映像入力に接続されていない	映像入力を接続します。
	モニタレコーダーに SD カードが入っていない	モニタレコーダーに SD カードを挿入します。
	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」側になっている	SD カードの書き込み禁止スイッチを解除します。
	SD カードの空き容量が少ない	不要ファイルの削除、または SD カードを交換して下さい。
記録した画像を再生できない	本製品以外で記録したファイルではありませんか？	本製品以外で記録されたファイルは再生しないで下さい。
	記録中に本体に強い衝撃が掛かりませんでしたか？	記録中の画像を正しく保存されなかった可能性があります。
	加工や編集をしませんでしたか？	本製品以外で加工や編集を行ったファイルを再生しないで下さい。
SD カードを認識しない	本製品以外でフォーマットしていませんか？	本製品(モニタレコーダー)で SD カードのフォーマットを行って下さい。
位置情報が表示・記録されない	位置情報が携帯端末から設定されていない	WLAN で携帯端末と接続し、GPS シンク機能で位置情報を設定して下さい。

症 状	原 因	処 置
WLAN 接続できない	専用のアプリを使用していない	使用する携帯端末に専用のアプリをインストールし、専用アプリ接続を行って下さい。
	WLANが ON になっていない	WLANを ON にして下さい。
	複数台同じ SSID を設定している	製品毎に SSID を設定して下さい。
	PASSWORD が違う	PASSWORD を再度確認して下さい。
画像のノイズが目立っている	コネクタがゆるんでいる	映像入力のコネクタをしっかりと接続します。

⚠ 注意

- 本製品は精密機器です。修理には専門技術が必要になります。個人での修理は絶対に行わないで下さい。性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因となります。製品に異常が生じたときは、上記内容を確認のうえ、販売元までお問合せ下さい。

- モニタレコーダーは、確認画面(メッセージ)を都度表示します。
表示された確認画面(メッセージ)を確認して下さい。



各種メッセージ (1例)

VIII. 製品仕様

1. 基本仕様

1) 映像入出力

映像入力	: NTSC/PAL
入力信号	: 1.0V(p-p) ±10% (75Ω 終端)
信号入力数	: RCA1 系統
映像出力	: NTSC/PAL (入力 TV 方式に依存)
出力信号	: 1.0V(p-p) ±10% (75Ω 終端)
信号出力数	: RCA 1 系統

2) モニタ部

型名	: VR700
液晶デバイス	: 7型タッチパネル付き TFT カラーLCD モジュール
タッチパネル方式	: 投影型静電容量方式
液晶画面サイズ	: 152.4 (H) x 91.44 (V) mm
表示ドット数	: 800 (H) x 480 (V) dot
画像表示エリア	: 640 (H) x 480 (V) dot
操作部表示エリア	: 160 (H) x 480 (V) dot
表示色	: 8-Bit 1670 万色
バックライト	: LED 方式 50,000 時間 (最小輝度時 Ta=25℃)
白輝度	: 340cd/m ² (min.)
視野角	: ※ 全白画面で「明るさ」=「標準」、「コントラスト」=「3」設定時 : 上下 80° ~ 80°、左右 80° ~ 80°

点・線欠陥

欠点	条件	規格
線欠陥	黒、白、赤、緑、青の各表示	0本
明点	赤 + 緑 + 青	≦ 4点
	連結した2ドット	0組
	連結した3ドット以上	0組
黒点	赤 + 緑 + 青	≦ 7点
	連結した2ドット	0組
	連結した3ドット以上	0組
欠点総数	明点 + 黒点	≦ 7点

外観規格

欠点		条件	規格
異物 シミ ゴミ	点形状	d ≦ 0.15mm	不問
		0.15mm < d ≦ 0.30mm	≦ 7個
		0.30mm < d ≦ 0.50mm	≦ 7個
	線形状	d > 0.5mm	0個
		W ≦ 0.05mm	不問
		0.05mm < W ≦ 0.08mm	L ≦ 0.8mm
0.08mm < W ≦ 0.10mm		L ≦ 0.5mm	≦ 2個
気泡、打痕	W > 0.1mm	0個	
	d ≦ 0.2mm	不問	
	0.2mm < d ≦ 0.3mm	≦ 4個	
	0.3mm < d ≦ 0.5mm	≦ 2個	
キズ(表示エリア)	d > 0.5mm	0個	
	W ≦ 0.05mm	不問	
	0.05mm < W ≦ 0.08mm	L ≦ 0.8mm	≦ 4個
	0.08mm < W ≦ 0.10mm	L ≦ 0.5mm	≦ 2個
ガラスひび・割れ	W > 0.1mm	0個	
	表示エリア全体(目視)	0個	

d:平均直径(本直径は、それぞれの長軸と短軸の平均値)、W:幅、L:長さ

3)録画部

静止画

・NTSC

サイズ : Full時 640 x 480 dot (時間のみ記録)
 Small時 320 x 240 dot (時間のみ記録)

・PAL

サイズ : Full時 720 x 540 dot (時間のみ記録)
 Small時 360 x 270 dot (時間のみ記録)

ファイル拡張子 : .jpg

動画

クロマフォーマット : 4:2:0

・NTSC

サイズ : Full時 640 x 480 dot (時間を記録可能)
 Small時 320 x 240 dot (時間を記録可能)

・PAL

サイズ : Full時 720 x 540 dot (時間のみ記録)
 Small時 360 x 270 dot (時間のみ記録)

画質 : 高画質 / 標準 / 低画質

ファイル拡張子 : .avi

記録メディア

記録メディア : SDカード

SDHCカード : 4GB、8GB、16GB、32GB

SDXCカード : 64GB、128GB、256GB

フォーマット形式 : FAT32

スピードクラス : Class10 以上

推奨 SD カード : 東芝製 SDBR48N シリーズ
 KIOXIA 製 KSDB-A シリーズ

動画録画可能時間 : 以下参照 (NTSC 時 目安)

※PAL 時は以下時間よりも録画時間が 6%程度短くなります。

Size Full (640 x 480) 時				
画質	容量 4GB	容量 8GB	容量 16GB	容量 32GB
高画質	3 時 27 分	6 時間 54 分	13 時間 48 分	27 時間 36 分
標準	5 時間 27 分	10 時間 54 分	21 時間 49 分	43 時間 39 分
低画質	10 時間 54 分	21 時間 49 分	43 時間 38 分	87 時間 16 分
Size Small (320 x 240) 時				
画質	容量 4GB	容量 8GB	容量 16GB	容量 32GB
高画質	10 時間 52 分	21 時間 45 分	43 時間 30 分	87 時間 00 分
標準	16 時間 22 分	32 時間 44 分	65 時間 29 分	130 時間 59 分
低画質	32 時間 49 分	65 時間 38 分	131 時間 17 分	262 時間 34 分

注意

1つの動画ファイルは、2時間 もしくは 2GB までとなります。

機能 : 動画録画、静止画記録、再生、逆再生、カウンタ表示、チャプター操作、ファイル操作

4)位置情報部

位置情報利用 : 専用の携帯端末用アプリ使用により、携帯端末の位置情報を本製品へ設定すると画面上に緯度、経度表示を行う。
 画像記録ファイル(静止画・動画)に位置情報を記録する。
 記録情報 緯度、経度、標高

5)無線 LAN(WLAN)部

準拠規格	: IEEE802.11 b/g/n 準拠 国内特定無線設備の技術基準適合モジュールを使用。
送受信周波数	: 2.4GHz (ch1 ~ ch13)
通信速度	: 11b 1~11Mbps 11g 6~54Mbps 11n 6.5~72.2Mbps
アクセスモード	: AP モード
セキュリティ	: SSID / NETWORK KEY を設定可能
通信可能距離	: 他無線 LAN 機器が無い開けた環境で 30m 以上 ※ モニタレコーダー右側面側は除く。 ※ 接続する携帯端末の性能、周囲環境に左右されます。
端末機操作	: 携帯端末専用アプリケーションにより可能

※ 本製品は WLAN 機能対応のため、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明を受けた WLAN モジュールを搭載しています。
(証明番号 : 204-230024)



2. 電源部

1)電源入力

入力電圧	: DC12V ± 5%
消費電流	: 使用時 1.0A (typ.) ※補助充電含む 充電時 1.6A (typ.) ※電源 OFF 時
入力コネクタ	: DC ジャック RC-5320A (EIA-J 電圧区分 IV)



2)バッテリー部

バッテリータイプ	: リチウムイオン二次電池
構成	: 4S1P (4本直列)
定格電圧	: DC+14.4V
電流容量	: 3150mAh (45.36Wh)
単体質量	: 約 200g
保護機能	: 低・高温検知時注意喚起 及び 自動シャットダウン、過充電保護
充電	: AC100V 接続 モニタレコーダー 電源 ON 時 システム駆動優先 モニタレコーダー 電源 OFF 時 バッテリー充電優先
外形	: 131.4±1 (D) x 38.1±0.6 (W) x 21.5±1 (H) 【 mm 】
設置場所	: モニタレコーダー 内部 (取り外し不可)
安全規格	: 電気用品安全法 (PS)E UN38.3

3)電源 LED 部

LED 点灯状態	: AC100V 駆動	電源 ON 時	緑色点灯	(充電なし)
			橙色点灯	(充電中)
		電源 OFF 時	赤色点灯	(充電中)
	バッテリー駆動時	電源 ON 時	緑色点灯	
		電源 OFF 時	消灯	
		電源起動時	緑色点滅	

3. 周囲環境

1) 使用時

使用場所	: 屋内及び屋外 (水濡れ及び粉塵など無き事)
周囲温度	: 0 ~ +40℃
周囲湿度	: 10 ~ 80% (ただし、結露無き事)
周囲気圧	: 70kPa ~ 106kPa
高度	: 2000m 以下
汚損度	: 2

2) 保存・輸送時

温度	: -10 ~ +60℃
湿度	: 10 ~ 80% (ただし、結露無き事)
気圧	: 70kPa ~ 106kPa

4. 機械仕様

外形	: 外形図参照
質量	: 約 1.0Kg

5. 寿命部品

本製品は、寿命が設定されている部品を使用しております。

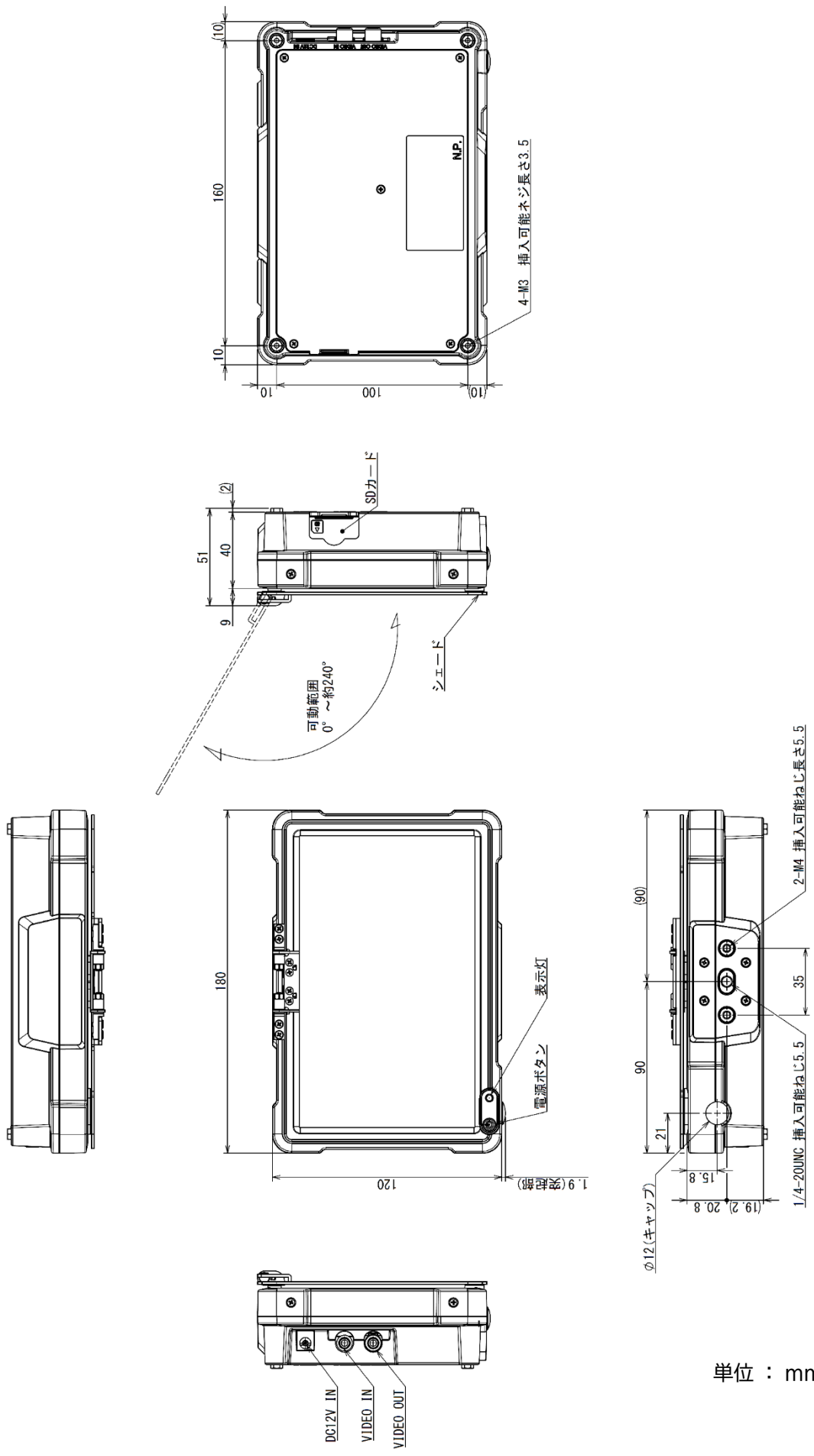
●寿命部品

以下の部品は **寿命部品** として認定し、ある一定期間の使用で性能が著しく劣化する場合があります。劣化を感じられた場合は、部品の交換を推奨いたします。販売元までご連絡下さい。内部部品のため、交換作業は弊社にて対応させていただきます。

また、交換につきましては保証期間内であっても **有償** となりますので、ご了承下さい。

- ①液晶モニタバックライト 目安 5年 (25℃で1日8時間使用の場合)
※バックライト交換時、液晶パネル及びタッチパネルも同時交換となります。
- ②リチウムイオンバッテリー 目安 3年 (25℃で使用の場合)
- ③時計用内部電池 目安 5年 (25℃で使用の場合)

6. 外形図



単位 : mm

IX. 日常の点検とお手入れについて

機器をより良い状態でご使用頂くために、ご使用される前に必ず以下の点検を実施下さい。
また、ご使用後は必ず清掃を行って下さい。

1. 日常の点検

バッテリー充電状態の確認

- ・ リチウムイオンバッテリーが充電されていること。
- ・ リチウムイオンバッテリーに充電できること。

画像の状態

- ・ 色、コントラストに異常が無く表示されること。
- ・ 画像が正常に表示されること。

⚠ 注意

- バッテリー充電状態・画像の状態の点検を除き、必ず本体及び電源コンセントから電源コードを取り外して行って下さい。
- 点検の際に異常を発見したらご使用を中止し、販売元までご連絡下さい。

2. 清 掃

モニタレコーダー本体

鮮明な画像をより長期間表示するために、液晶画面の清掃を行って下さい。
清掃時は、必ず乾いた柔らかい布を使用して汚れなどを拭き取って下さい。
表面がざらついた布などで拭きますと、画面表示部にキズが付き、画像を確認しにくくなります。
また、汚れがひどい場合は、シンナー等の有機溶剤は使用せず、水で薄めた中性洗剤などを
柔らかい布にしみこませ、よく絞ってから拭き取って下さい。
清掃の際は、開口部や穴などに水滴、異物などが入らないようご注意下さい。

コネクタ類

コネクタ類に汚れが付着しますと、コネクタ接触部の導通性が低下し事故につながる可能性があります。
水や汚れが付着したときは速やかに乾いた布で拭き取って下さい。

⚠ 注意

- 清掃を行う際は、必ず本体及び電源コンセントから電源コードを取り外し行って下さい。
- 水拭きをしている際に水滴が内部に浸入してしまった場合には、暖かい部屋にしばらく放置して必ず乾燥させて下さい。
乾燥しないままご使用になると感電・事故・故障の原因となりますので、水の浸入には十分お気を付け下さい。
- 本体には水をかけないで下さい。
また、水滴などが付着した場合は、すぐに布などで拭き取って下さい。内部に侵入し、故障の原因となります。
- 中性洗剤を使用する際は、水で薄めて下さい。

3. 保 管

本製品を長期間使用しない場合は、きれいに清掃してから保管して下さい。

- ・ 本体及び電源コンセントから電源コードを抜き、本製品と共に室内に保管して下さい。
保管中、本体に直射日光や水などが付着しないようご注意下さい。
- ・ 保管時は、定期的にモニタレコーダーの充電を実施して下さい(目安:3ヶ月ごと)

X. 保証について

本製品の保証期間は 1年間 です。

- ・本製品の無償修理期間は、お買い上げ後 1 年間です。
ただし、お買い上げ日が不明な場合、弊社出荷日から判断させていただきます。
- ・修理後、交換部品に対する無償修理期間は6ヶ月といたします。
- ・本製品の有償修理期間は本製品生産終了後5年間といたします。
ただし、LCD パネルなどのキーパーツが生産終了となった場合は対象外といたします
- ・故障品は、弊社工場もしくは提携工場引き取りを原則とし、取り外し取り付け費用は対象外といたします。
また、製品の輸送費は発送元負担といたします。
- ・修理品は、弊社工場もしくは提携工場引き取りを原則とし、取り外し取り付け費用は対象外といたします。
また、お客様及び最終ユーザー様における諸経費(出張費など)及び弊社への返送費は、お客様にてご負担頂くものといたします。

保証期間内でも次の場合は 有料修理 となります。

- ・弊社または、弊社指定の業者以外による、保守および修理による故障や損傷。
- ・お買い上げ後の落下・輸送等による故障および損傷。
- ・弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で、弊社の製品が受けた故障や損傷。
- ・弊社指定純正部品以外の補修部品使用による、保守や修理などによる故障や損傷。
- ・製品に付属の取扱説明書に記載されている、注意事項や操作方法等を守らなかった結果による故障や損傷。
- ・製品に付属の取扱説明書に記載されている電源や設置環境等、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障や損傷。
- ・火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
- ・消耗部品及び寿命部品の修理・交換。

⚠ 注意

- SD カード及びその他のメディアに記録したデータの消滅(破損・破壊)については、弊社は一切その責任を負いませんので、ご了承下さい。
- 有害物質や放射線などに汚染された機器の修理は行いませんので、ご容赦下さい。
- 弊社または弊社指定業者以外による修理・点検等で発生した人身事故や破損、故障について弊社は一切その責任を負いませんので、ご了承下さい。

保証期間後の修理、補修用性能部品の保有期間については、お買い上げの販売店または弊社サービス担当にお問い合わせ下さい。修理可能な製品については、ご希望により 有料 で修理をさせていただきます。
※修理を依頼される前に「 VII. 故障と思う前に 」をご確認下さい。

お問合せ

お問い合わせは、弊社ホームページからも承ります。

<https://www.toshiba-teli.co.jp/support/index.j.htm>

東芝テリー株式会社

<https://www.toshiba-teli.co.jp>

〒191-0065 東京都日野市旭ヶ丘 4-7-1

(営業部)

電話 042(589)7377

FAX 042(589)8774

(サービス担当)

電話 042(589)7383

FAX 042(589)7374

●お問い合わせは、営業部または販売元へお願いします。